

The background of the entire page is a light gray color with several realistic water droplets of various sizes scattered across it. The droplets have highlights and shadows, giving them a three-dimensional appearance. The largest droplets are located in the top-left and bottom-right corners, while smaller ones are more numerous in the center and along the edges.

# 2022事業報告書

聖学院の活動と財政状況

2023年5月29日

学校法人聖学院

# 目 次

|                                  | ページ |
|----------------------------------|-----|
| <b>I 法人の概況</b>                   |     |
| 1. 学校法人聖学院沿革(年表・略図)              | 1   |
| 2. キャンパス所在地等                     | 4   |
| 3. 役員・評議員および教職員の概要               | 5   |
| 4. 設置する学校の名称および入学定員と学生数等         | 7   |
| 5. 学校法人聖学院組織図                    | 9   |
| 聖学院教育憲章                          | 10  |
| 聖学院大学の理念                         | 11  |
| 聖学院百周年聖約                         | 12  |
| 第二次聖学院教育会議聖約                     |     |
| 第二次聖学院教育会議第3回会同宣言文               |     |
| 第二次聖学院教育会議第4回会同宣言文               |     |
| 第二次聖学院教育会議第5回会同宣言文               |     |
| 第三次聖学院教育会議宣言文                    |     |
| 学校法人聖学院倫理綱領                      | 14  |
| 聖学院大学 教育方針                       | 16  |
| <b>II 事業報告</b>                   |     |
| 1. 教職員を取り巻く環境の変化                 | 17  |
| 2. 教育環境の整備                       | 19  |
| 3. 聖学院ビジョン(SEIG VISION)          | 20  |
| (1) 中期的な計画                       |     |
| (2) 事業計画の進捗・達成状況                 |     |
| 4. 聖学院各学校の主な事業                   | 21  |
| <b>III 財務の概要</b>                 |     |
| 1. 各計算書の科目について                   | 32  |
| 2. 決算の概要                         | 34  |
| ① 貸借対照表関係                        |     |
| ② 資金収支計算書関係                      |     |
| ③ 事業活動収支計算書関係                    |     |
| 3. その他                           | 47  |
| 4. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応対策等 | 49  |
| 5. 財産目録                          | 50  |
| <b>監事監査報告書</b>                   | 51  |

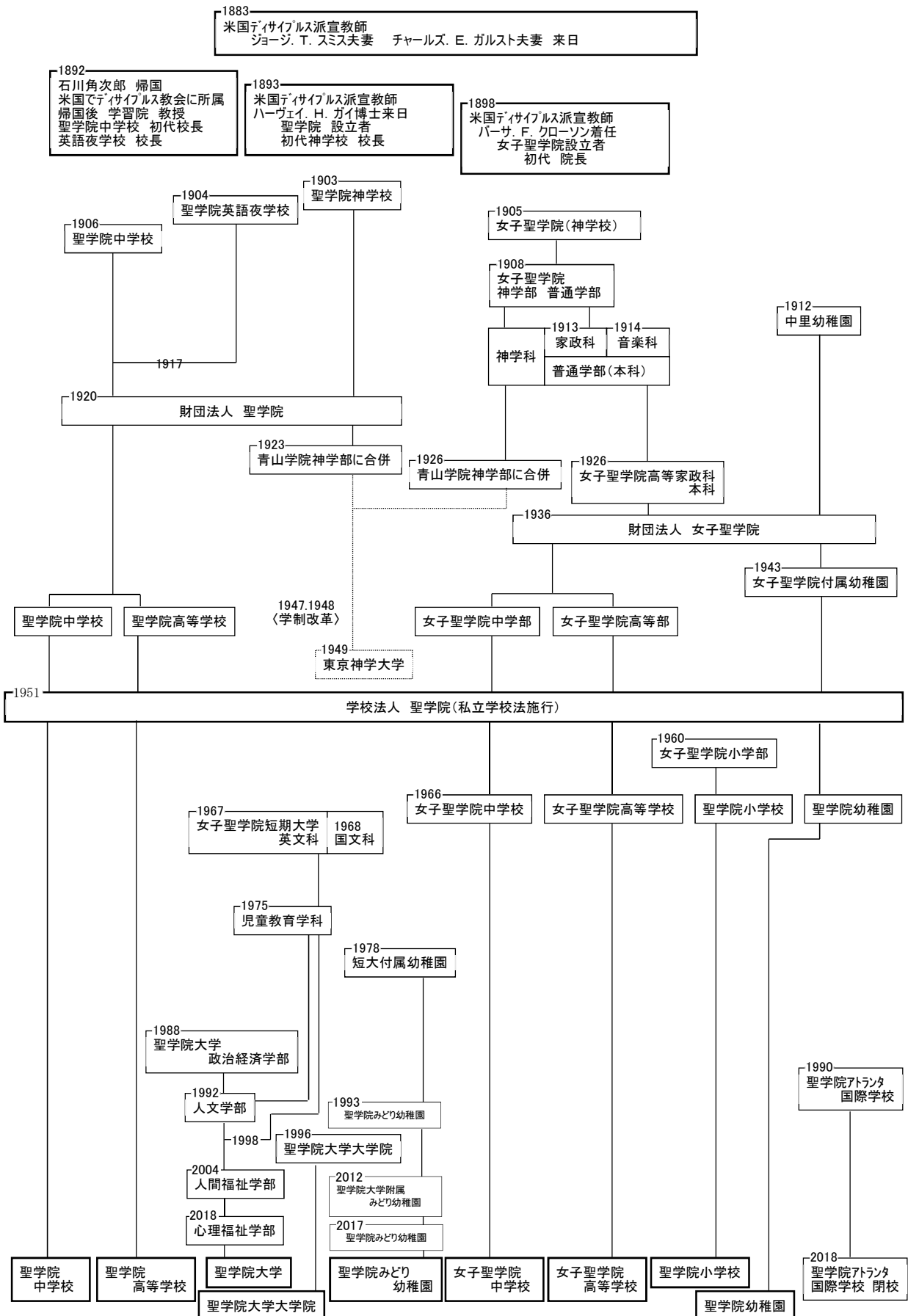
# I 法人の概況

## 1. 学校法人聖学院沿革(年表・略図)

| 年 表   |       |     |   |
|-------|-------|-----|---|
| 1903年 | 明治36年 | 2月  | 聖学院神学校を設立する。  |
| 1905年 | 38年   | 11月 | 女子聖学院神学部を設立する。  |
| 1906年 | 39年   | 9月  | 聖学院中学校を設立する。  |
| 1908年 | 41年   | 4月  | 女子聖学院普通学部を設立する。   |
| 1912年 | 45年   | 4月  | 中里幼稚園（現、聖学院幼稚園）を設立する。                                       |
| 1913年 | 大正2年  | 4月  | 女子聖学院家政学部を設立する。   |
| 1920年 | 9年    | 10月 | 聖学院中学校、財団法人聖学院を組織する。  |
| 1926年 | 15年   | 4月  | 女子聖学院普通学部を本科、神学部を神学科、家政学部を高等家政科と改称する。                       |
| 1936年 | 昭和11年 | 12月 | 女子聖学院、財団法人女子聖学院を組織する。                                       |
| 1938年 | 13年   | 4月  | 女子聖学院本科を高等女学科と改称する。   |
| 1943年 | 18年   | 4月  | 中里幼稚園を女子聖学院附属幼稚園と改称する。                                      |
| 1947年 | 22年   | 4月  | 学制改革に伴い聖学院中学校、女子聖学院中学部を設立する。                                |
| 1948年 | 23年   | 4月  | 学制改革に伴い聖学院高等学校、女子聖学院高等部を設立する。                               |
| 1951年 | 26年   | 3月  | 私立学校法施行に伴い聖学院中学校・高等学校、女子聖学院中学部・高等部・附属幼稚園を含む学校法人聖学院を組織する。    |
| 1960年 | 35年   | 2月  | 女子聖学院小学部、東京都知事より設置認可を受ける。                                   |
| 1960年 | 35年   | 4月  | 女子聖学院小学部（現、聖学院小学校）を設立する。                                    |
| 1966年 | 41年   | 5月  | 女子聖学院中学部・高等部・小学部・附属幼稚園の名称を女子聖学院中学校・高等学校・聖学院小学校・聖学院幼稚園と改称する。 |
| 1967年 | 42年   | 1月  | 女子聖学院短期大学英文科、文部大臣より設置認可を受ける。                                |
| 1967年 | 42年   | 4月  | 女子聖学院短期大学英文科を設立する。  |
| 1968年 | 43年   | 2月  | 女子聖学院短期大学国文科、文部大臣より設置認可を受ける。                                |
| 1968年 | 43年   | 4月  | 女子聖学院短期大学国文科を増設する。  |
| 1975年 | 50年   | 1月  | 女子聖学院短期大学児童教育学科、文部大臣より設置認可を受ける。                             |
| 1975年 | 50年   | 4月  | 女子聖学院短期大学児童教育学科を増設する。                                       |
| 1978年 | 53年   | 2月  | 女子聖学院短期大学附属幼稚園、埼玉県知事より設置認可を受ける。                             |
| 1978年 | 53年   | 4月  | 女子聖学院短期大学附属幼稚園（現、聖学院みどり幼稚園）を設立する。                           |
| 1987年 | 62年   | 12月 | 聖学院大学政治経済学部政治経済学科、文部大臣より設置認可を受ける。                           |
| 1988年 | 63年   | 4月  | 聖学院大学政治経済学部政治経済学科を設立する。                                     |
| 1988年 | 63年   | 4月  | 聖学院大学総合研究所を設立する。  |
| 1990年 | 平成2年  | 9月  | 聖学院アトランタ国際学校（幼稚部・小学部）を設立する。                                 |
| 1991年 | 3年    | 12月 | 聖学院大学人文学部欧米文化学科・児童学科、文部大臣より設置認可を受ける。                        |
| 1992年 | 4年    | 4月  | 聖学院大学人文学部欧米文化学科・児童学科を設立する。                                  |
| 1993年 | 5年    | 4月  | 聖学院アトランタ国際学校に中学部を増設する。                                      |
| 1993年 | 5年    | 5月  | 女子聖学院短期大学附属幼稚園の名称を聖学院みどり幼稚園と改称する。                           |
| 1995年 | 平成7年  | 3月  | 女子聖学院短期大学児童教育学科、文部大臣より廃止認可を受ける。                             |

| 年 表   |      |     |   |
|-------|------|-----|---|
| 1995年 | 7年   | 12月 | 聖学院大学大学院政治政策学研究科政治政策学専攻（修士課程）、文部大臣より設置認可を受ける。   |
| 1996年 | 8年   | 3月  | 聖学院アトランタ国際学校(中学部)、文部大臣より在外教育施設の認定を受ける。  |
| 1996年 | 8年   | 4月  | 聖学院大学大学院政治政策学研究科政治政策学専攻（修士課程）を設立する。   |
| 1997年 | 9年   | 12月 | 聖学院大学人文学部日本文化学科・人間福祉学科、文部大臣より設置認可を受ける。  |
| 1998年 | 10年  | 4月  | 聖学院大学人文学部日本文化学科・人間福祉学科を増設する。<br>（これに伴い、女子聖学院短期大学の募集を停止する。）                                  |
| 1998年 | 10年  | 12月 | 聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科アメリカ・ヨーロッパ文化学専攻（修士課程）、文部大臣より設置認可を受ける。                               |
| 1999年 | 11年  | 4月  | 聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科アメリカ・ヨーロッパ文化学専攻（修士課程）を設立する。   |
| 1999年 | 11年  | 10月 | 聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科、文部大臣より設置認可を受ける。   |
| 2000年 | 12年  | 4月  | 聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科を増設する。   |
| 2000年 | 12年  | 12月 | 聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科アメリカ・ヨーロッパ文化学専攻博士(後期)課程、文部大臣より設置認可を受ける。                             |
| 2001年 | 13年  | 3月  | 女子聖学院短期大学、文部科学大臣より廃止認可を受ける。   |
| 2001年 | 13年  | 4月  | 聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科アメリカ・ヨーロッパ文化学専攻博士(後期)課程を設立する。                                       |
| 2003年 | 15年  | 4月  | 聖学院アトランタ国際学校、Winters Chapel Roadに移転する。  |
| 2004年 | 16年  | 2月  | 聖学院大学人間福祉学部児童学科・人間福祉学科、文部科学大臣より設置認可を受ける。  |
| 2004年 | 16年  | 4月  | 聖学院大学人間福祉学部児童学科・人間福祉学科を増設し、これに伴い、児童学科・人間福祉学科を人文学部から改組する。                                    |
| 2005年 | 17年  | 12月 | 聖学院大学大学院人間福祉学研究科人間福祉学専攻（修士課程）、文部科学大臣より設置認可を受ける。   |
| 2006年 | 18年  | 4月  | 聖学院大学大学院人間福祉学研究科人間福祉学専攻（修士課程）を設立する。   |
| 2011年 | 23年  | 8月  | 聖学院大学人間福祉学部こども心理学科、文部科学大臣より設置認可を受ける。  |
| 2012年 | 24年  | 4月  | 聖学院大学人間福祉学部こども心理学科を増設する。<br>聖学院みどり幼稚園の名称を聖学院大学附属みどり幼稚園と改称する。                                |
| 2014年 | 26年  | 4月  | 聖学院大学政治経済学部政治経済学科とコミュニティ政策学科を一体化して再編する。これに伴い、コミュニティ政策学科の募集を停止する。                            |
| 2017年 | 29年  | 4月  | 聖学院大学附属みどり幼稚園の名称を聖学院みどり幼稚園と改称する。  |
| 2018年 | 30年  | 4月  | 聖学院大学人間福祉学部児童学科を人文学部児童学科に改組する。<br>聖学院大学心理福祉学部心理福祉学科を増設する。これに伴い人間福祉学部こども心理学科、人間福祉学科の募集を停止する。 |
| 2018年 | 30年  | 6月  | 聖学院アトランタ国際学校を閉校する。  |
| 2019年 | 31年  | 4月  | 聖学院大学大学院人間福祉学研究科人間福祉学専攻（修士課程）を心理福祉学研究科心理福祉学専攻（修士課程）と改称する。                                   |
| 2020年 | 令和2年 | 3月  | 聖学院アトランタ国際学校理事会を解散する。   |
| 2020年 | 2年   | 4月  | 聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科アメリカ・ヨーロッパ文化学専攻（博士前期・博士後期課程）を文化総合学研究科文化総合学専攻（博士前期・博士後期課程）と改称する。     |

米国 キリスト教 デイサイルス教会 Christian Church (Disciples of Christ)



## 2. キャンパス所在地等

### ◆法人

学校法人聖学院

〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2

Tel 03-3917-8351(代表) Fax 03-3940-3798

URL : <https://www.seig.ac.jp/>

### ◆さいたま上尾キャンパス

聖学院大学

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1 番-1 号

Tel 048-781-0925(代表) Fax 048-726-2962

聖学院大学大学院

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1 番-1 号

Tel 048-725-1801 Fax 048-780-1804

聖学院大学総合研究所

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎 1 番-1 号

Tel 048-725-5524 Fax 048-781-0421

聖学院みどり幼稚園

〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷 820

Tel 048-622-3864 Fax 048-625-1822

### ◆駒込キャンパス

聖学院中学校・高等学校

〒114-8502 東京都北区中里 3-12-1

Tel 03-3917-1121(代表) Fax 03-3917-1123

女子聖学院中学校・高等学校

〒114-8574 東京都北区中里 3-12-2

Tel 03-3917-2277(代表) Fax 03-3917-3680

聖学院小学校

〒114-8574 東京都北区中里 3-13-1

Tel 03-3917-1555(代表) Fax 03-3917-1554

聖学院幼稚園

〒114-8574 東京都北区中里 3-13-2

Tel 03-3917-2725(代表) Fax 03-3917-1739

### ◆郊外施設

塩谷コミュニティセンター

〒329-2338 栃木県塩谷郡塩谷町風見山田

### 3. 役員・評議員および教職員の概要

#### (1) 役員・評議員の概要

[定員] 理事：14名以上16名以下(寄附行為第6条第1項第1号及び同条第2項)

監事：2名以上3名以下(寄附行為第6条第1項第2号)

評議員：理事数の2倍を超える数(寄附行為第18条第2項)

2023年3月31日現在

| 役員・評議員の別 | 選任区分                 | 氏名<br>(※理事兼務者)      | 任期         |            | 常勤・非常勤の別<br>(役員のみ) | 主な現職等<br>(法人教職員のみ)   |
|----------|----------------------|---------------------|------------|------------|--------------------|----------------------|
|          |                      |                     | 自年月日       | 至年月日       |                    |                      |
| 理事長      | 職務上<br>(聖学院大学学長)     | しみず まさゆき<br>清水 正之   | 2020年4月1日  | 2023年3月31日 | 常勤                 | 聖学院大学学長              |
| 理事       | 職務上<br>(院長)          | やまぐち ひろし<br>山口 博    | 2021年4月1日  | 2025年3月31日 | 常勤                 | 院長<br>キリスト教センター所長    |
| 理事       | 職務上<br>(聖学院高等学校校長)   | いとう だいすけ<br>伊藤 大輔   | 2021年4月1日  | 2025年3月31日 | 常勤                 | 聖学院中学校高等学校校長         |
| 理事       | 職務上<br>(女子聖学院高等学校校長) | あんどう まもる<br>安藤 守    | 2022年4月1日  | 2026年3月31日 | 常勤                 | 女子聖学院中学校高等学校校長       |
| 理事       | 職務上<br>(聖学院小学校校長)    | さとう しん<br>佐藤 慎      | 2021年4月1日  | 2025年3月31日 | 常勤                 | 聖学院小学校校長             |
| 理事       | 評議員会互選               | しみず ひろゆき<br>清水 広幸   | 2021年7月10日 | 2023年6月30日 | 常勤                 | 聖学院中学校高等学校副校長        |
| 理事       | 評議員会互選               | ながふち みつえ<br>永渕 光恵   | 2021年7月10日 | 2023年6月30日 | 非常勤                |                      |
| 理事       | 評議員会互選               | かとう じゅん<br>加藤 順     | 2021年6月1日  | 2023年3月31日 | 非常勤                |                      |
| 理事       | 学識経験者                | おおくら ひろゆき<br>大蔵 浩之  | 2021年7月1日  | 2023年3月31日 | 非常勤                |                      |
| 理事       | 学識経験者                | ひがし ひさし<br>東野 尚志    | 2021年7月1日  | 2025年6月30日 | 非常勤                |                      |
| 理事       | 学識経験者                | きくち じゅん<br>菊地 順     | 2019年4月1日  | 2023年3月31日 | 常勤                 | 聖学院大学教授              |
| 理事       | 学識経験者                | こいけ しげこ<br>小池 茂子    | 2021年4月1日  | 2025年3月31日 | 常勤                 | 聖学院大学副学長             |
| 理事       | 学識経験者                | かねこ けんたろう<br>金子 健太郎 | 2021年4月1日  | 2025年3月31日 | 非常勤                |                      |
| 監事       | —                    | たかはし かつのり<br>高橋 克典  | 2021年7月10日 | 2025年7月9日  | 非常勤                |                      |
| 監事       | —                    | しばた ふみこ<br>柴田 史子    | 2022年4月1日  | 2026年3月31日 | 非常勤                |                      |
| 監事       | —                    | あさひ みのる<br>朝居 稔     | 2022年6月1日  | 2026年5月31日 | 非常勤                |                      |
| 評議員      | 職務上<br>(院長)          | やまぐち ひろし<br>山口 博*   | 2021年4月1日  | 2025年3月31日 | —                  | 院長<br>キリスト教センター所長    |
| 評議員      | 職務上<br>(聖学院大学学長)     | しみず まさゆき<br>清水 正之*  | 2020年4月1日  | 2023年3月31日 | —                  | 聖学院大学学長              |
| 評議員      | 職務上<br>(聖学院高等学校校長)   | いとう だいすけ<br>伊藤 大輔*  | 2021年4月1日  | 2025年3月31日 | —                  | 聖学院中学校高等学校校長         |
| 評議員      | 職務上<br>(女子聖学院高等学校校長) | あんどう まもる<br>安藤 守*   | 2022年4月1日  | 2026年3月31日 | —                  | 女子聖学院中学校高等学校校長       |
| 評議員      | 職務上<br>(聖学院小学校校長)    | さとう しん<br>佐藤 慎*     | 2021年4月1日  | 2025年3月31日 | —                  | 聖学院小学校校長             |
| 評議員      | 教職員                  | にしむら よういち<br>西村 洋一  | 2022年4月1日  | 2023年6月30日 | —                  | 聖学院大学副学長             |
| 評議員      | 教職員                  | しみず ひろゆき<br>清水 広幸*  | 2021年7月1日  | 2023年6月30日 | —                  | 聖学院中学校高等学校副校長        |
| 評議員      | 教職員                  | もりぐち しげる<br>森口 茂    | 2022年4月1日  | 2023年6月30日 | —                  | 女子聖学院中学校高等学校副校長      |
| 評議員      | 教職員                  | たむら かずあき<br>田村 一秋   | 2021年7月1日  | 2023年6月30日 | —                  | 聖学院幼稚園園長<br>聖学院小学校教頭 |
| 評議員      | 教職員                  | こくぼ きょうこ<br>小久保 京子  | 2021年7月1日  | 2023年6月30日 | —                  | 聖学院幼稚園主幹             |
| 評議員      | 教職員                  | あかた なおき<br>赤田 直樹    | 2021年7月1日  | 2023年6月30日 | —                  | 聖学院みどり幼稚園園長          |
| 評議員      | 教職員                  | まえだ かずのり<br>前田 和則   | 2021年7月1日  | 2023年6月30日 | —                  | 法人事務局長               |
| 評議員      | 同窓会                  | さかわら てつや<br>坂村 哲也   | 2021年7月1日  | 2023年6月30日 | —                  |                      |

| 役員・評議員の別 | 選任区分  | 氏名<br>(*理事兼務者)           | 任期        |            | 常勤・非常勤の別<br>(役員のみ) | 主な現職等<br>(法人教職員のみ) |
|----------|-------|--------------------------|-----------|------------|--------------------|--------------------|
|          |       |                          | 自年月日      | 至年月日       |                    |                    |
| 評議員      | 同窓会   | あきや だいすけ<br>秋谷 大輔        | 2021年7月1日 | 2023年6月30日 | —                  |                    |
| 評議員      | 同窓会   | くらはら はるよ<br>栗原 治代        | 2021年7月1日 | 2023年6月30日 | —                  |                    |
| 評議員      | 同窓会   | さいぐさ まさかず<br>三枝 正和       | 2021年7月1日 | 2023年6月30日 | —                  |                    |
| 評議員      | 同窓会   | よしほら あいぞう<br>吉原 愛三       | 2021年7月1日 | 2023年6月30日 | —                  |                    |
| 評議員      | 同窓会   | いまい くにえ<br>今井 邦枝         | 2021年7月1日 | 2023年6月30日 | —                  |                    |
| 評議員      | 同窓会   | ながふち みつえ*<br>永淵 光恵*      | 2021年7月1日 | 2023年6月30日 | —                  |                    |
| 評議員      | 同窓会   | かつくら ゆうじ<br>勝倉 雄二        | 2021年7月1日 | 2023年6月30日 | —                  |                    |
| 評議員      | 同窓会   | はら ひとし<br>原 均            | 2021年7月1日 | 2023年6月30日 | —                  |                    |
| 評議員      | 同窓会   | もとはし きくこ<br>本橋 喜久子       | 2021年7月1日 | 2023年6月30日 | —                  |                    |
| 評議員      | 同窓会   | こやま こうじ<br>小山 浩史         | 2021年7月1日 | 2023年6月30日 | —                  |                    |
| 評議員      | 教役者   | ひがしの ひさし*<br>東野 尚志*      | 2021年7月1日 | 2023年6月30日 | —                  |                    |
| 評議員      | 教役者   | E. D. おずばーん<br>E.D.オズバーン | 2021年7月1日 | 2023年6月30日 | —                  |                    |
| 評議員      | 教役者   | たかはし じゅん<br>高橋 潤         | 2021年7月1日 | 2023年6月30日 | —                  |                    |
| 評議員      | 学識経験者 | おおくら ひろゆき<br>大蔵 浩之*      | 2021年7月1日 | 2023年3月31日 | —                  |                    |
| 評議員      | 学識経験者 | かとう じゅん*<br>加藤 順*        | 2020年6月1日 | 2023年3月31日 | —                  |                    |
| 評議員      | 学識経験者 | きくち じゅん*<br>菊地 順*        | 2021年4月1日 | 2023年3月31日 | —                  | 聖学院大学教授            |
| 評議員      | 学識経験者 | こいけ しげこ*<br>小池 茂子*       | 2021年4月1日 | 2023年3月31日 | —                  | 聖学院大学副学長           |
| 評議員      | 学識経験者 | かねこ けんたろう*<br>金子 健太郎*    | 2021年4月1日 | 2023年3月31日 | —                  |                    |

## (2)教職員の概要

2022年5月1日現在

| 名称           | 教員                  | 教員(兼務)              | 職員  |
|--------------|---------------------|---------------------|-----|
| 聖学院大学・大学院    | 91(95)<br>※(総研含む)   | 184(188)<br>※(総研含む) | 78  |
| 聖学院中学校高等学校   | 58                  | 35                  | 12  |
| 女子聖学院中学校高等学校 | 50                  | 40                  | 10  |
| 聖学院小学校       | 21                  | 8                   | 3   |
| 聖学院幼稚園       | 8                   | 6                   | 2   |
| 聖学院みどり幼稚園    | 7                   | 10                  | 2   |
| 法人           | —                   | —                   | 15  |
| 合計           | 235(239)<br>※(総研含む) | 283(287)<br>※(総研含む) | 122 |



#### 4. 設置する学校の名称および入学定員と学生数等（2022年5月1日現在）

##### 【大学・学部】

| 聖学院大学  |            | 入学定員 | 収容定員  | 学生数   | 収容定員充足率 |
|--------|------------|------|-------|-------|---------|
| 政治経済学部 | 政治経済学科     | 160  | 640   | 698   | 1.09    |
|        | コミュニティ政策学科 | 0    | 0     | 1     | —       |
|        | 小計         | 160  | 640   | 699   | 1.09    |
| 人文学部   | 欧米文化学科     | 80   | 320   | 338   | 1.06    |
|        | 日本文化学科     | 80   | 320   | 402   | 1.26    |
|        | 児童学科       | 100  | 400   | 315   | 0.79    |
|        | 小計         | 260  | 1,040 | 1,055 | 1.01    |
| 人間福祉学部 | 児童学科       | 0    | 0     | 4     | —       |
|        | こども心理学科    | 0    | 0     | 3     | —       |
|        | 人間福祉学科     | 0    | 0     | 4     | —       |
|        | 小計         | 0    | 0     | 11    | —       |
| 心理福祉学部 | 心理福祉学科     | 120  | 520   | 529   | 1.02    |
| 合計     |            | 540  | 2,200 | 2,294 | 1.04    |

心理福祉学部心理福祉学科は2018年度に新設

人文学部児童学科は2018年度に新設

心理福祉学部心理福祉学科は3年次編入の定員20名を含む

人間福祉学部児童学科、こども心理学科、人間福祉学科は2018年度募集停止

コミュニティ政策学科は2014年度募集停止

##### 【大学院】

| 聖学院大学大学院 |        | 入学定員 | 収容定員 | 学生数 | 収容定員充足率 |
|----------|--------|------|------|-----|---------|
| 政治政策学研究科 | 修士課程   | 10   | 20   | 21  | 1.05    |
|          | 博士前期課程 | 5    | 10   | 2   | 0.20    |
| 文化総合学研究科 | 博士後期課程 | 5    | 15   | 5   | 0.33    |
|          | 小計     | 10   | 25   | 7   | 0.28    |
| 心理福祉学研究科 | 修士課程   | 10   | 20   | 13  | 0.65    |
| 合計       |        | 30   | 65   | 41  | 0.63    |

人間福祉学研究科を2019年度に心理福祉学研究科に名称変更

アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科を2020年度に文化総合学研究科に名称変更

##### 【高等学校】

| 名称        | 入学定員 | 収容定員  | 生徒数 | 収容定員充足率 |
|-----------|------|-------|-----|---------|
| 聖学院高等学校   | 195  | 585   | 409 | 0.70    |
| 女子聖学院高等学校 | 200  | 600   | 342 | 0.57    |
| 合計        | 395  | 1,185 | 751 | 0.63    |

##### 【中学校】

| 名称       | 入学定員 | 収容定員  | 生徒数 | 収容定員充足率 |
|----------|------|-------|-----|---------|
| 聖学院中学校   | 195  | 585   | 504 | 0.86    |
| 女子聖学院中学校 | 200  | 600   | 344 | 0.57    |
| 合計       | 395  | 1,185 | 848 | 0.72    |

##### 【小学校】

| 名称     | 入学定員 | 収容定員 | 生徒数 | 収容定員充足率 |
|--------|------|------|-----|---------|
| 聖学院小学校 | 80   | 480  | 426 | 0.89    |

##### 【幼稚園】

| 名称        | 収容定員 | 園児数 | 収容定員充足率 |
|-----------|------|-----|---------|
| 聖学院幼稚園    | 140  | 114 | 0.81    |
| 聖学院みどり幼稚園 | 160  | 107 | 0.67    |
| 合計        | 300  | 221 | 0.74    |

| 法人合計 | 収容定員  | 学生生徒数等 |
|------|-------|--------|
|      | 5,415 | 4,581  |

**【付置研究所等】**

＜聖学院大学総合研究所＞

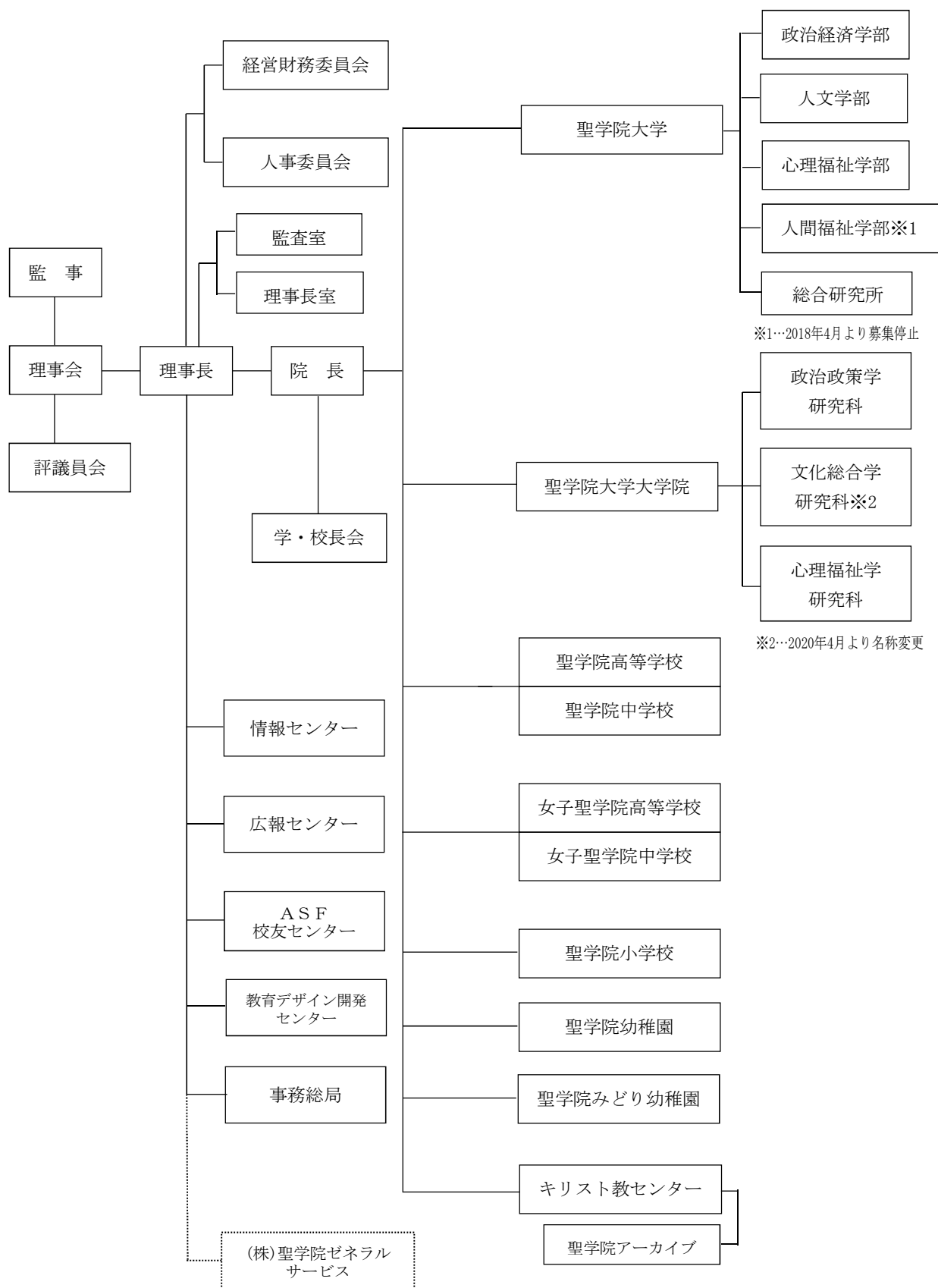
| センター名称             | 研究センター・研究室・グループ名称                                   |
|--------------------|---|
| 文化総合研究センター         | 韓国長老会神学大学校との学術交流による研究（日韓神学者会議）                      |
|                    | 神学学術研究（組織神学・伝道研究）                                   |
|                    | 日本文化学研究（グローバリゼーションと日本文化研究）                          |
|                    | ラインホルド・ニーバー研究                                       |
|                    | 税法研究（埼玉税法研究）  |
|                    | 基礎自治体マネジメント研究                                       |
|                    | 子どものこころと絵本研究（旧・こども心理学研究）                            |
|                    | 【助成研究】「元」の探求  |
| 【助成研究】韓国の移民政策と排外主義 |   |
| 心理福祉総合研究センター       | 心理福祉学研究<br>分科会1 福祉のこころ・ソーシャルワーク研究<br>分科会2 心理学研究     |
|                    | 教会心理学研究   |
|                    | 【助成研究】・大学ボランティアセンターの教育機能の発揮条件に関する実証的研究              |
|                    | 【プロジェクト研究】高齢者福祉研究                                   |
| 教育総合研究センター         | 【プロジェクト研究】・攻撃的乳幼児の増加する東日本大震災被災地における保育士向け心理教育プログラム開発 |
|                    | 児童学研究（〈児童〉における「総合人間学」の試み研究）                         |
|                    | 基礎総合教育研究（アクティブ・ラーニング研究）（休止）                         |
|                    | 【プロジェクト研究】精神保健福祉士によるソーシャルアクション研修プログラム開発と普及啓発に関する研究  |
|                    | 【プロジェクト研究】情報圏を構成するパーソナルデジタルドキュメントの長期利用保証に関する研究      |

**【リレーションズ・総合研究所補助活動事業】**

- ・心理相談室グリーンケア・ルームおよび牧会電話相談（カウンセリング研究センター）（休室）
- ・人間福祉スーパービジョンセンター
- ・聖学院キッズ・イングリッシュ（幼稚園児・小学生対象英語教室）
- ・聖学院大学出版会

## 5. 学校法人聖学院組織図

(2022年4月1日現在)



## 聖学院教育憲章

聖学院は間もなく創立百周年を迎えます。アメリカのミSSIONナリたちによる献身的奉仕を継承し、第二次大戦中は迫害をも耐え抜いて「神を仰ぎ人に仕う」精神を貫き、今日では幼稚園から大学・大学院、そしてアメリカに聖学院アトランタ国際学校をもつまでに至りました。

1945年の敗戦を機に「日本国憲法」と「教育基本法」が制定公布され、「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」（憲法97条）の恩恵を日本国民も享受するに至りました。聖学院は、この二つの根本規範が奇しくもキリスト教を基盤とする学院本来の教育目標と合致することを見だし、その理想を実現することをもって学院の教育的使命としてきました。それは、「平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しようと努めている国際社会において、名誉ある地位を占めたい」という国民的願望を教育によって達成するためです。

21世紀に入り、国の内外を問わず多くの深刻な問題が発生する中で、教育の重要性はますます広く深く認識されてきました。この時わが国と人類の将来にかかわる教育の方向を誤ってはなりません。聖学院は過去百年の間守り続けてきた教育の基本精神を明らかにし、同時に現代の諸問題と取り組んで、いかによき未来を開拓すべきかを、過去三カ年に及ぶ聖学院教育会議で検討してまいりました。いまここにその成果をまとめ、聖学院教育憲章として宣言いたします。

### [聖学院教育の根本目的]

聖学院は、日本国憲法（1946年制定）と教育基本法（1947年制定）に示された理想の実現を図り、将来の日本および国際社会に貢献する人間を育成することを教育の根本目的とします。

### [聖学院教育の理念]

聖学院は、一人ひとりが神からかけがえのない賜物を与えられているという確信に基づき、それぞれの固有な賜物を発見することを助け、個人の人格の完成へ導く教育をします。聖学院教育はナンバーワン教育ではなく、オンリーワン教育であり、そしてそれはオンリーワン・フォー・アザーズ（他者のために生きる個人）の教育です。

### [聖学院教職員の自己革新]

聖学院教職員は、「仕えられるためではなく、仕えるためにきた」と言われたキリストの模範にしたがい、人々に最も良く仕える者こそが社会を導いていくとの確信のもとに、サーヴァント・リーダーシップをもって責任を果たすため自己革新に努めます。

以上ここに宣言いたします。

2002年11月14日 聖学院教育会議

## 聖学院大学の理念

- 第1条 本大学は、プロテスタント・キリスト教の精神に基づき、自由と敬虔の学風によって、真理を探究し、霊的次元の成熟を柱とした全体的な人間形成に努め、人類世界の進展に寄与せんとする者の学術研究と教育の文化共同体である。
- 第2条 本大学は、プロテスタント・キリスト教の伝統に即してなされる礼拝を生命的な源泉とする。礼拝においては、聖書と宗教改革者が証する福音が語られ、そこから大学共同体にとっての生命である研究と教育のための自由と責任、及び伝道への活力、さらに本大学の伝統を継承し新たに創造する喜びと熱意とが与えられる。
- 第3条 プロテスタント・キリスト教は、特に近代世界の成立と展開に独特な貢献を果してきたが、それゆえまた、現代社会において固有な責任を負っている。本大学は真剣な学術研究と生きた教育、霊的強化とを通して、このプロテスタント・キリスト教の現代文化に対する責任という世界史的課題を大学形成において遂行し、希望ある世界の形成に寄与せんとする。
- 第4条 本大学は、日本におけるプロテスタント・キリスト教の伝統及びその信仰的、文化的、教育的貢献に連なるとともに、その労苦と苦心の経験に虚心に学び、その信仰、文化、教育活動の新しい進展のために努力し、日本社会に対し新たな指標を打ち立てようとする。そのため、福音的プロテスタント諸教会の協力を仰ぐとともに、とりわけ、かつての聖学院神学校が合流している東京神学大学との協力関係を密にする。また、広く内外のプロテスタント諸大学と相互協力の関係も樹立する。
- 第5条 本大学は、「現代文化の諸問題とキリスト教の課題」等の問題を研究する機会を提供し、開かれた大学として、プロテスタント・キリスト教の精神をもって国際化した時代と激動する社会、及び地域の問題にも積極的に取り組み、創造的な活動を行うことによって、そのキリスト教的、文化的特色を発揮することを期する。
- 第6条 本大学は、学校法人聖学院の設立による諸学校との精神的、財政的な一体性の中にある。また教育的にそれぞれ独自の位置と課題を尊重しつつ、それらとの密接な関連、協力の関係を持ち、聖学院全体の一貫教育の高等教育段階を担う。
- 第7条 以上の理想のために、本大学に働くすべての教職員は、互いの人格を尊重し、各自の持ち場においてそれぞれにふさわしい責任を自発的かつ積極的に遂行するとともに、キリスト教的な愛と謙遜と熱意とをもって互いに協力し合うことが期待される。
- 第8条 教授は、福音的自由と真理への畏敬の念を持って、学問的探究に鋭意努力し、その研究と教育を通して、時代の課題に積極的に応えつつ、新しい世代の知的、実践的、霊的次元での育成に努め、本大学の精神、学問、伝統の確立と継承、及び新たな創造に努めることが期待される。
- 第9条 学生は、知的、実践的のみならず霊的次元において成熟し、かつ専門の学問の研鑽とその応用力の修得に努め、現代社会の課題に取組み、明日の社会を担い得る教養と良識とを身につけ、豊かで個性的な人格形成に努めることが期待される。
- 第10条 本大学は、以上の理念に基づくことによって、いかなる種類の組織体やイデオロギーの支配も介入も許さず、また私的並びに集団的な暴力による破壊や妨害を許さない。

(1988年4月1日施行)

## 聖学院百周年聖約

主の年2003年から2006年まで聖学院は創立から百周年を記念し、学校法人聖学院として心をひとつにし、創立の理想を回顧し、また来る百年を展望する機会をもってきた。日本の現状を顧みるとき、敗戦後外面的復興によって隠蔽されてきた内面的問題が今や人間や家庭の崩壊となって現象し、重い教育課題として迫っている。この課題と真っ向から取り組み日本の未来に希望をつくり出すことはとくにミッション・スクールの使命であると言わねばならない。学校法人聖学院は、聖学院が主と仰ぐ神の前に、この使命達成のため新しい百年に向かって教育のために召された聖約共同体として自己を形成し、法人全体一致協力して使命を担い、主の栄光をあらわすよう努めることを、ここに厳粛に聖約する。

2006年8月 学校法人聖学院理事会合宿一同

## 第二次聖学院教育会議聖約

第二次教育会議にあたり、「聖学院百周年聖約」を改めて確認し、その使命達成のために、聖学院は、「祈り」のある学校として「聖」学院となり、日本社会に垂直次元を証し、現代の重い教育課題と取り組んでいくことを、ここに厳粛に聖約する。

2007年8月 第二次聖学院教育会議出席者一同

## 第二次聖学院教育会議第3回会同宣言文

聖学院教職員一同は、これまでの教育会議において聖約共同体として自らを形成しつつ、人格・人権の重視、生命の尊重を基礎とした教育を実践する決意をともにしてまいりました。人格関係が崩壊し、異常な犯罪が続出しつつある今日、私たち聖学院の関係者すべてが、第二次聖学院教育会議第3回会同にて以下のことにおいて一致し、宣言いたします。

教職員は自らを聖約共同体の一員として自覚し、硬直化しがちな制度・システムを弾力的に運用していくことで、学生・生徒・児童・園児（以下「生徒たち」という）が、常に新たに自己成長を達成できるよう、教育の実をあげることを目指します。

このため、私たちは、教職員のみならず保護者も同窓生もともに自ら良き教育共同体と成って、生徒たちのための人格的な交わりを形成していくことに奉仕をいたします。この歩みの中で、生徒たちが自ら良き生活習慣やコミュニケーションを身につけていくことを、私たちは期待します。この課題を果たしていくことで、私たち聖学院の関係者すべてが祈りと心をひとつにし、グローバルな市民社会の真の担い手として献身していくことを聖約いたします。

2008年8月5日 第二次教育会議第3回会同出席者一同

## 第二次聖学院教育会議第4回会同宣言文

私たち聖学院教職員一同は、創立百周年を記念して、戦後日本社会が抱える人間の内面的問題を教育問題として取り組むことを聖約してまいりました。この内面的問題は、今や現代社会に異常な犯罪として現れているだけでなく、日本社会の人間の心の闇として重く広がっております。

私たちは、学生・生徒・児童・園児（以下「生徒たち」という）が負うすべての重荷を共に担うとともに、生徒たちに与えられている賜物を大きく豊かに生かすために、常に生徒たちを深く知り、新たに私たち自身を成長させ、恒常的な教育改革に取り組むことに努めます。

私たちは、この使命を神から託された召命と確信し、自らこの目的のために献身し、聖学院を聖約共同体として形成してまいります。

教職員のみならず保護者も同窓生もともに「聖学院教育憲章」に立ち、この課題を果たしていくことをとおして日本社会の根本問題と取り組むことを、本日の第二次聖学院教育会議第4回会同において、ここに聖約いたします。 神よ、御導きあれ。

2009年8月4日 第二次聖学院教育会議第4回会同出席者一同

## 第二次聖学院教育会議第5回会同宣言文

私たち聖学院教職員一同は、「競争社会」においてますます格差が拡大する中で、神から人に与えられている固有の賜物が生かされず、人が切り捨てられ、生きる力を喪失し自ら命を断っていく現代日本社会の状況に心を痛めます。

私たちは、この現況に対し、100年の歩みを積み重ねてきた聖学院本来の教育の原点に立ち、学院各校の枠を超え一貫して、園児・児童・生徒・学生（以下「生徒たち」という）が神より愛されていることに気づき、オンリー・ワン・フォー・アザーズの精神を身につけるよう育みます。生徒たち、教職員が共に、この社会において想いを共有しつつ共に生きる喜びの共同体を創っていき、その中で生きる力が神から与えられていることを確信することこそ、現代「競争社会」への応えです。

教職員のみならず保護者や同窓生が共に、「聖学院教育憲章」に基づく上記使命を神から託された聖なる召命と確信し、この目的のために献身していくことを、ここに聖約いたします。

神よ、私たちの歩みをお導きください。

2010年8月4日 第二次聖学院教育会議第5回会同出席者一同

## 第三次聖学院教育会議宣言文

今、日本社会はあの3月11日の大震災後の苦悩の中におります。主よ、被災に苦しむ方々と私たちのこの国を憐れんでください。

私たちは、この大震災をひたすら強者の国を目指してきた日本国の第二の挫折体験として受け止めます。主イエス・キリストは、苦難は誰かが罪を犯したからではなく神のみわざがあらわれるためである、と言われました。私たちはこの教えを希望の光とします。聖学院教職員一同は、格差拡大の「競争社会」でなく、お互いの痛みを共有し、その賜物を分かち合い、助け合って生きる「協力社会」を形成し、その社会に貢献する人間の教育に献身していくことを目指します。

教職員のみならず保護者や同窓生もともに、「聖学院教育憲章」に基づくこの使命に、神から託された聖なる召命として献身していくことをここに聖約いたします。

2011年8月4日 第三次聖学院教育会議出席者一同

## 学校法人聖学院 倫理綱領

学校法人聖学院（以下本法人という）は、「神を仰ぎ人に仕える」キリスト教教育共同体であることに鑑み、末永く存立・発展していくために、「学校法人聖学院倫理綱領」（以下本倫理綱領という）を制定する。

### （目的）

第1条 本倫理綱領は、本法人の理事及び監事をはじめ全教職員の行動規範が、「寄附行為」第3条及び「聖学院教育憲章」（以下「教育憲章」という）全3カ条、さらに聖学院大学関係者については「聖学院大学の理念」全10カ条に基づくことを各人が認識し、年度ごとの具体的使命達成目標を自覚することにより、本法人の建学の精神を各人の担当責任分野において考え方、行動に具現化していくキリスト教教育共同体を形成することを目的とする。

### （行動規範）

第2条 前条の責務を負う理事及び監事はもちろん、全教職員は、教育機関に所属する者としての高貴な倫理観から良識と責任のある言動をとる。

- 2 理事、監事及び全教職員は、学内外において、本法人の宣揚に努め、本法人の名誉および信用を傷つける行為をせず、また根拠のない無責任な虚偽情報に惑わされず、適切な情報伝達と守秘義務の遵守及び情報モラルの確立に努める。
- 3 理事、監事及び全教職員は、本法人の資産及び資源を適正に管理・運営し、公私の区別を厳格にして私的利益のために用いない。
- 4 理事、監事及び全教職員は、常に世代継承及び後継者育成を意識して努力する。

### （理事及び監事の責務）

第3条 理事及び監事は、本倫理綱領を体現することが自らの役割であることを自覚しかつその使命を自ら率先して積極的に引き受け、以下各号の精神を遵守しつつ、高潔な倫理観と高邁な精神をもって、理事は学校法人の経営にあたり各校発展のヴィジョンの構築及び各校の人員・組織の活性化並びに財政基盤の強化及び財政状態の安定化に努め、監事は学校法人の会計監査、業務監査及び教務監査に当たるものとする。

- (1) 本法人に委ねられた園児・児童・生徒・学生（院生を含む）及び彼らに奉仕する教職員の心身霊性を守り、その家庭の幸せのために尽力すること。また本法人傘下各校所在の近隣をはじめ地域の福利向上、安全に協力すること。
- (2) 財的、権限的乱用を一切しないことはもちろん、差別行為及び一切のハラスメント行為をしないよう意識し、常に気品ある言葉遣い及び態度に努めること。
- (3) 責任回避を一切せず、結果責任を常に意識すること。
- (4) 自分が属する組織・機関の立場を十分発言するとともに、常に全体の代表者であることを自覚してその特定の利害や主張をいたずらに代弁しないこと。
- (5) いかなる機関に関わるものであろうと口利き行為を自粛すること。
- (6) 定年を率先して遵守するとともに、出処進退を常にわきまえること。
- (7) 立場を異にする考えにも常に傾聴するとともに、一方、国家その他の組織、機関、集団ならびに特定の個人からの不当な圧力には一切屈しないこと。また、反社会的勢力や反社会的勢力との関係を疑われかねない勢力に対し、毅然とした態度で臨み、一切の関係を持たず、不当な要求には一切応じないこと。



- 2 理事及び監事は、本法人の「教育憲章」、「就業規則」及び本倫理綱領の精神を率先して実行し、全教職員の模範として学内に影響を与える者であることを自覚する。
- 3 理事は、本法人の「教育憲章」或いは「就業規則」に反する重大な事態が発生したときには、本法人の経営トップとして積極的に問題解決に当たり、原因究明と再発防止に努めるとともに迅速かつ的確な情報公開と説明責任を遂行し、状況によっては自らを含めて厳正な処分を行うことをためらわないものとする。

(コンプライアンスの原則)

第4条 理事、監事及び全教職員は、本法人がキリスト教教育共同体であり、また社会の公器としての役割を担うものであることを自覚し、キリスト教学校としての諸規程、諸規則等を含む諸規範並びに関連する法令、条例、その他の諸法規を遵守することとする。

(各校の倫理綱領遵守への期待)

第5条 本倫理綱領の精神及び敷衍された倫理規範は、各校の教職員に具体的に遵守されることが期待される。

2013年5月27日学校法人聖学院理事会出席者一同

## 聖学院大学 教育方針

聖学院大学は、開学の当初より「聖学院大学の理念10ヵ条」（以下「理念」という）を擁し、プロテスタント・キリスト教の精神に基づく人格教育を行ってきている。それは、神によって創造されたかけがえのない存在である学生を愛し、その魂の健全な成長を配慮しつつ、リベラルアーツを基盤とする専門教育をとおして各人の個性を引き出すことである。それは、コミュニケーション力や判断力などの業務遂行能力を高め、現代の市民社会の各分野でその担い手として貢献できる人物の育成にほかならない。

現在各大学は日本社会から「大学教育の質保証」を問われているが、本学はこの理念に基づく教育方針の貫徹をもってその応えとしたい。具体的には、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションに分けて以下のとおり「聖学院大学の教育方針」を宣言する。また各学部・学科・研究科ごとの固有の方針も掲げる。

### <ディプロマ・ポリシー>

聖学院大学は、「聖学院大学の理念10ヵ条」に即した価値観および総合的判断力を備え、自由と人権を重んじ、隣人愛と使命感をもって人類の平和と福祉の実現のためにグローバル社会の各分野で貢献できる人材を育成する。このような人材に求められる、①幅広い教養、②専門的知識、③人間力（共感力、対話力、実践力）の修得を大学全体の共通目標とし、学部学科のディプロマ授与方針を満たした学生に学士のディプロマを授与する。

### <カリキュラム・ポリシー>

聖学院大学は、上記ディプロマを授与されるに相応しい学生の育成のため、礼拝と授業と大学行事をとおして行われるキリスト教人格教育を中心としながら、基礎教育の充実と教養教育を深め、同時に各学部学科の専門教育を行う。

キリスト教人格教育とは、何よりも神によって創造されたかけがえのない存在である学生一人ひとりを愛し、その人格を重んじ、その魂の健全な成長を配慮しつつ、聖学院教育憲章に謳われている「Only one for others」の精神をもって、人間一人ひとりの自由と人権を守り育成する教育である。そのために、少人数教育を重んじ、人と人との人格的な触れ合いを大事にしていく。

またこの人格教育を中心にして、基礎教育の充実とともに幅広い教養を身につけるためのリベラルアーツ教育を行っていく。これは、学生一人ひとりが、自分の置かれた状況を的確に判断し、自分にとっても他者にとってもより良い生き方ができる道を模索し、選び取り、行動できる、そうした主体性を確立する教育である。そして、こうした土台の上に、各学部・学科の専門教育が行われ、そのためのカリキュラム体系が形成される。

### <アドミッション・ポリシー>

聖学院大学は、上記カリキュラムに即した教育を受けるに相応しい学生を選抜、あるいは見出すため、「理念」に共感し、神から与えられた固有の賜物を人間形成的に、学問的に本学で開花させたいと願う志望者を種々の選抜方法により、受け入れ、あるいは見出して行く。

## II 事業報告

### 1. 教職員を取り巻く環境の変化

#### (1) 役員および管理者就任

2022年度の役員および管理者就任（再任を含む）は以下のとおりである。

##### 《役員》

理事：山口 博（院長）

理事：安藤 守（女子聖学院中学校高等学校校長）

理事：加藤 順（評議員会互選）

監事：柴田史子

監事：朝居 稔

##### 《管理者》

##### ①法人

・キリスト教センター所長：山口 博 任期2022年4月1日～2023年3月31日

##### ②女子聖学院中学校高等学校

・校長：安藤 守 任期2022年4月1日～2026年3月31日

(2) 今後、改正となる私立学校法および大学設置基準について各種説明会の参加、担当するチーム作りなど準備を開始した。

(3) 第830回理事会（2022年4月25日開催）にて教職員人事制度等に関する過年度からの引継項目について人事委員会の諮問機関として2つの検討チームを編成して立案・提案をすることとなった。検討項目および進捗状況については以下のとおりである。

1. 検討チームA：(1) 事務職員の職位と職層の区分について（完了）、(2) 事務職員の役職定年制の見直しについて（継続）、(3) 出産・介護制度の充実について（完了）、(4) 事務職員の残業問題について（継続）

2. 検討チームB：(1) 退職金の見直しについて（継続）、(2) 大学教員待遇改善について（継続）、(3) 教員給与の全面的見直しについて（継続）

なお、継続事項については第二期中期計画として検討する。

(4) 2022年度大学では「教育開発センター」が設置された。主な活動としては「カリキュラム・マップの作成」「初年次教育プログラム案の策定と試行」「アセスメントテストの見直し」を実施した。また、FD・SD委員会と連携を図り、「授業勉強会」を4回開催した。今後は教育開発センターを中心に、FD・SD委員会と教務部委員会と連携し、引き続き教育開発を行っていく。駒込キャンパスにおいては2021年度より「教育デザイン開発センター」を設置、駒込3校の小中高連携・男女連携による教育デザインを行い、学校法人聖学院として新たな教育価値を創造している。2022度も3つのユニットに教職員が参加し、教育・研究活動を推進した。(1) SDGs・ESD教育ユニットにおいては、中高生による「環境エコプロジェクト」を実施したほか、2023年度ユネスコスクール登録を目指し小・中高それぞれのSDGs教育マップを作成した。(2) 英語・グローバル教育デザインユニットにおいては、授業研究を行うワーキンググループを結成

し、外部講師を招いて「問いと評価」の研究を実施した。(3) ICT活用授業・学習デザインユニットにおいては、中高教員による授業実践発表会を2回実施したほか、デジタルシチズンシップ教育の小中高接続教育マップの研究・策定を進めている。

(5) 事務職員の人材育成アセスメントも2期目に入り2021年度の実施等に関する検証を行い、能力発揮シートを目標達成シートに変更し、より「目標を達成すること」にフォーカスすることとした。大学では「SD実施方針」を策定し法人主催の職員研修と大学SDとの連携を図った。そこで2022年度は私立大学連盟のオンデマンド研修を教材とし、部毎にSD研修を実施した。今後も、職員が成長する一助となるようなしくみづくりを進めていく。

(6) 事務組織について2022年度の変更点は以下のとおりである。

1. 監査の充実を図るため監査室を理事長直下に設置した。
2. 法人事務局管轄のセンター事務を統括するために、広報部を法人センター統括部に変更し、情報センター事務室、広報センター事務室を配置した。
3. 実質的な観点からキリスト教センター事務室を法人事務局学事部から大学事務局経営企画部に変更した。
4. 大学総務課の担当部署としていたみどり幼稚園事務を施設給付型幼稚園の変更および園舎改築構想の観点からみどり幼稚園事務課として独立させた。
5. 課を増やすことなく各課において職務内容に応じた担当制を明確にした。

## 2. 教育環境の整備

(1) 主な改修工事、購入等 ※金額については千円未満切捨てで表示しています。

### 《建物関係》

#### 【聖学院大学】

- ・大学1号館1・2階トイレ改修工事：12,250千円
- ・大学4号館学生エンカレッジセンター：5,818千円
- ・2号館水道メーター（南側系統・ディスプレイ館系統）：2,447千円

#### 【女子聖学院中学校・高等学校】

- ・防犯カメラ用ネットワーク工事：1,853千円

### 《構築物》

#### 【聖学院大学】

- ・大学6号館前水道メーター（6・7・8号館系統）：1,271千円

### 《建設仮勘定》

#### 【聖学院大学】

- ・図書館空調更新工事：47,542千円
- ・パイプオルガン建造費及び付帯費用：33,877千円

### 《教育研究用機器備品/管理用機器備品》

#### 【聖学院大学】

- ・アップライトピアノ4台：2,798千円

#### 【聖学院中学校・高等学校】

- ・MacBook Air 75台：7,574千円 ※都財団助成金対応
- ・業務NWスイッチ更改：5,152千円
- ・ガイホールプロジェクター更新：1,999千円 ※都財団助成金対応
- ・生徒用ネットワーク無線AP追加工事：2,082千円 ※都財団助成金対応

#### 【女子聖学院中学校・高等学校】

- ・女子中高化学室・生物室AV機器更新工事：5,630千円 ※都財団助成金対応
- ・印刷機 LX-1005MF：3,102千円

#### 【聖学院小学校】

- ・無線LANシステム更改：17,644千円 ※都財団助成金対応
- ・教室用プロジェクター14台：9,930千円 ※都財団助成金対応

### 《修繕関係》

#### 【聖学院大学】

- ・大学業務用ネットワーク機器更改：6,747千円

#### 【聖学院中学校・高等学校】

- ・体育館屋内消火栓ポンプ更新工事：3,627千円

#### 【女子聖学院中学校・高等学校】

- ・パイプオルガン オーバーホール：6,200千円
- ・保護樹木他剪定：2,420千円

#### 【聖学院みどり幼稚園】

- ・聖学院みどり幼稚園改修工事：18,476千円

### 《ソフトウェア関係》

#### 【聖学院大学】

- ・教務システム GAKUEN RX：5,555千円

#### 【聖学院中学校・高等学校】

- ・教務システム機能追加改修：5,225千円

### 3. 聖学院ビジョン(SEIG VISION)

#### (1) 中期的な計画

VISION 2018-2023 キーメッセージ

将来の日本および国際社会に貢献する人間を育成  
「誰一人取り残さない」世界の実現を目指して  
*Only One for Others*

成長に貢献する

英語教育  
アクティブラーニング  
ICT教育

他者に貢献する

キリスト教教育  
ボランティア活動  
地域連携推進

世界に貢献する

SDGs推進<sup>※1</sup>  
日本留学AWARDS  
国際交流

社会の課題

・環境  
・ダイバーシティ  
・自然災害  
・ジェンダー  
・コミュニティ  
・労働  
・紛争  
・教育  
・貧困  
・経済



学院の使命

幼稚園から大学院までを擁する  
教育機関としての社会的責任  
SR (Social Responsibility)

カリキュラムの目的を可視化  
学ぶ意欲を引き出す

2018  
聖学院ビジョン策定  
グローバルコンパクト<sup>※2</sup>署名、加入

サーバント・リーダーシップの育成  
社会に貢献する人材を輩出

2023 聖学院創立120周年

※1 SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた17の目標です。  
※2 グローバルコンパクトは2000年に発足した国連の組織で、持続可能な開発目標(SDGs)の推進に力を入れています。

#### (2) 事業計画の進捗・達成状況

本学院公式HPに掲載の「聖学院ビジョン年次報告」をご覧ください。

URL : [https://www.seig.ac.jp/report/vision\\_report/](https://www.seig.ac.jp/report/vision_report/)

QRコード



## 4. 聖学院各学校の主な事業

### 【聖学院大学・聖学院大学大学院】

#### (1) 記念事業

- ① ボランティア活動支援センター設立 10 周年を記念して以下の事業を実施した。
  - ・ ボラセン 10 周年記念「ボランティアの集い」  
3 月 21 日（火・祝）13:00～17:00 標記イベントを開催した。当日は会場に卒業生・在学生・教職員・地域関係者合わせ 115 名の参加があった。第一部のシンポジウムでは、ライブ配信で 22 名のオンライン視聴があり、95 回のオンデマンド視聴があった。また、当日の様子について 4 月 7 日（金）J:com の「Live ニュース」で放送された。
  - ・ 書籍の出版  
センター10年の歩みをまとめた「共に育つ学生×大学×地域 人生に響くボランティアコーディネーション」を聖学院出版から出版し、学生ボランティア支援の理論と実際について発信を行った。執筆には、卒業生・在学生・教職員・地域関係者等 49 名の方が関わった。
- ② サステナビリティ推進センター(SSC)開設記念イベントの実施  
2022 年 4 月に聖学院大学サステナビリティ推進センター(SSC)が開設したことを記念して、11 月 16 日（水）に「SEIG Fashion Revolution 2022～好きなこと×SDGs～」がハイブリッド形式にて開催された。公開講演会「大量廃棄社会の、その先へ」および古着ファッションショーのほか、古着のリメイクワークショップやパネル展示等も行われ、会場では約 220 名、オンライン上では約 110 名の参加があった。また、このイベントに関して翌日 11 月 17 日（木）付の「毎日新聞」朝刊にて『SDGs 理解深めて 古着でランウエー 聖学院大でファッションショー』が掲載された。

#### (2) 新たな教育事業への取り組み

- ① 2022 年 9 月 8 日（金）神田女学園中学校高等学校と高大連携に関する協定を締結した。学問、スポーツ、文化などの幅広い分野における高校生および大学生の進学およびキャリア構築を支援するとともに、教育・研究に関する相互理解の促進に取り組む事を目的とした。
- ② 地元小学校の防災教室に大学教員・学生が協力  
さいたま市立日進北小学校で防災教室が行われ、本学教員とゼミ生、防災戦隊マモルンジャー（本学ボランティア活動団体）が講義やステージ披露を実施した。
- ③ 対面による東北ボランティアスタディツアーの再開  
2 月 18 日（土）～20 日（月）に、コロナ禍で開催を見送っていたバスによる東北ボランティアスタディツアーを再開した。震災遺構大川小学校を拠点に、現地の団体と連携を取り、学生主体の取り組みを展開した。本取り組みについて、J:com より取材依頼があり、3 月 10 日（金）12:30～13:00 の番組で放送された。
- ④ LGBT をテーマとした映画上映&感想シェア会（視野を広げる教養講座）実施  
11 月 23 日（水）AH に LGBT をテーマとした映画「カランコエの花」上映と感想シェア会を実施し、主催のジェンダー勉強会の学生 3 名、映画上映会スタッフの学生 6 名、上映会参加者 23 名（学生 13 名、教職員 10 名）、計 32 名が参加した。映画の内容、感想シェア会、ともに好評だった。
- ⑤ SDGs およびサステナビリティの推進と活動支援
  - ・ SDGs に積極的に取り組む繊維専門商社の豊島株式会社への訪問を 9 月 15 日（木）に実施し、本学の学生 3 名、教職員 2 名、他大学の学生 6 名、教員 1 名、計 12 名の参加があった。
  - ・ 本学学生団体が中心となって学内で古着回収を行い、青山学院大学および関東学院大学の学生団体と合同で古着ファッションショーを 11 月 16 日（水）の SSC 開設記念イベン

ト内で開催した。その他、古着リサイクルを提案する「裂織ワークショップ」や学外での本プロジェクトのパネル展示等も実施した。

- ・ 12月7日(水)～9日(金)に東京ビッグサイトで開催されたSDGs Week EXPO 2022(エコプロ2022)に、本学学生団体Petite Arche(プチ・アルシュ)が初めて単独でブース出展を行った。活動写真や古着ファッションショーで使用した古着コーディネーター等の展示を行い、社会学習で来場していた小中学生を含む来場者に活動紹介を行った。

- ⑥ これまで人文学部運営で開催されてきた「高校生ビブリオバトル・ワークショップ」の事業を図書館が引継ぎ、第6回「高校生ビブリオバトル・ワークショップ」を図書館主催で6月25日(土)にオンライン開催した。

### (3) 教育研究の充実

- ① 2021年度に引き続き、4号館2階のピアノ室にピアノ4台を入れ替えた(2/4年目)。
- ② 4号館1階ヴェリタス堂書店跡に学生エンカレッジセンター窓口フィリアを設置した。
- ③ 聖学院大学総合研究所2022年度研究助成採択  
標記研究助成に「大学ボランティアセンターの教育機能の発揮条件に関する実証的研究：ボランティアコーディネーターの支援実践に着目して」とのテーマで申請を行い採択された。2年間の助成を受け、全国の大学ボランティアセンターへの調査を実施することとなった。
- ④ 第22回小学校英語指導者養成講座 オンライン講演会の実施(欧米文化学科主催)  
2022年11月5日(土)に小学校英語指導者養成講座オンライン講演会を開催した。日本全国の小学校教員を中心に75名の参加があり、大変好評であった。  
講演題「小学校外国語における指導と評価 ～Can-Do とパフォーマンス評価を中心に～」  
講演者 泉恵美子氏 関西学院大学教育学部・教育学研究科教授
- ⑤ 第10回日韓神学者学術会議(日韓シンポジウム)が韓国・長老会神学大学校との共催にて11月11日に本学を会場に開催された。テーマは「人間：アジアの人間観と神学的人間論——21世紀における人間性回復のための統全的収斂(2)」であった。

### (4) 教育研究の整備

- ① バリアフリーの一環として、7号館1階、4号館1階、図書館3階、2号館1階、ヴェリタス館1階、エルピス館2階の女子手洗及びバリアフリー手洗いに警報装置を追加した。
- ② 図書館棟の空調を更新した(1/3年目)。
- ③ 1号館1階、2階の手洗いを改修した。
- ④ 4号館4206、4207の空調機を更新した。
- ⑤ 体育館1階に熱中症予防のため製氷機を設置した。
- ⑥ 体育館シャワー室の水栓及び配管工事を行った。
- ⑦ 礼拝・講堂棟を除くキャンパス全体の照明をLED化した。
- ⑧ 「カリキュラム・マップ」策定  
教育効果を客観的に測定し、学修成果の可視化をすすめるため、各学科が作成したDPLルーブリックを基に基準をもとに、次年度からの適用をするため、学科のディプロマ・ポリシーと各科目との関係を示した「カリキュラム・マップ」を策定し、2023年度Web学生要覧に掲載した。
- ⑨ 対面授業を基本とする授業運営と一部オンライン授業の実施  
2022年度授業方針に基づき、90%以上の授業を対面で実施した。新型コロナウイルス感染予防に留意しつつ教室環境を整備し、定員の70%を履修上限として実施した。また、一部授業は履修者数及び授業内容に鑑み、オンデマンド・課題学習型オンライン授業により実施した。
- ⑩ 「聴講生受け入れ」と準備「履修証明プログラム」の拡充



2023 年度授業方針の決定に基づき、社会人に対する生涯学習の提供を目的とし、2020 年度以降中断していた「聴講生」の受け入れを再開した。「履修証明プログラム」についても、既存の 4 つに加え、新たに 7 つの子ども教育学科プログラムを新設し、合計 11 プログラムとするなど、次年度からの受講体制を整備した。

⑪ 学会発表

月 1 回ボランティア活動支援センター内で研究会を開催し、その成果を日本福祉教育・ボランティア学習学会神戸大会（11 月 27 日）で発表した。

⑫ 本学の研究活動の推進、競争力の強化を目指し、総合研究所内に研究者支援や環境整備などについて検討する組織として、研究推進委員会が新たに設置され、剽窃チェックツールの導入などを行った。

(5) 環境基盤の整備

① 2 号館 4 階ゼミ教室の座席数調整

教室環境の改善し、更なるアクティブラーニング授業を推進すべく、2 号館 4 階ゼミ教室(8 教室)の座席数を 2/3 に変更した。本変更によって座席間の幅が拡大、授業中の受講者の移動が容易となり、授業の自由度が高まった。

② 元人間福祉学科演習室の通常教室化の完了

2 号館 1 階 2106 教室にプロジェクター、マイク、什器を設置し、不足気味の 50 名規模教室を拡充した。

③ 学科専用 iPad 整備

欧米文化学科に 10 台、児童学科に 28 台の学科専用 iPad を整備し、アクティブラーニング授業の環境を整えた。また、児童学科には、小中学校で導入が進んでいる授業支援システムの「ロイロノート」も導入し、より教育の現場に即した環境での学びを行うことができるようになった。

④ 包括連携協定の強化

- ・ 連携先の一つである鳩山町において本学ボランティアコーディネーターが介護予防・生活支援サポーター養成講座を実施し、鳩山町におけるボランティア（生活支援等）育成等に係る現状と課題等を共有・把握し、今後の育成全般における助言・指導等を行った。また、ボランティア活動の実践者（主として介護予防及び生活支援に係るボランティア）への活動維持・継続に向けた課題等への助言等を行った。
- ・ 地域連携活動助成金事業の推進  
2021 年度に新規事業として立ち上げた助成金事業を 2022 年度も地域の 3 団体と本学教員と学生の協働によって実施した。

⑤ 企業連携の取り組み

日本自動車連盟（JAF）埼玉支部と本学教員とゼミ生による連携授業を実施した。

⑥ 埼玉県 SDGs 官民連携プラットフォームへの入会

本学における SDGs やサステナビリティへの取り組み等の情報発信を行いながら、多様な企業・団体等との交流を深め、連携するため、2023 年 1 月 17 日（火）付で埼玉県 SDGs 官民連携プラットフォームに入会した。

(6) 人事の活性化

① ボランティア活動支援センターの引継ぎタイム実施

コロナ禍による影響で活動の継続や引継ぎの課題をもつ団体が増えたことから、昨年度に引き続き、学生からの要望を受け合同の引継ぎイベントを開催した。当日は、学友会団体を含む学生団体 8 団体 29 名が参加した。

(7) 国際連携

① ダブル・ディグリー生の受け入れ

提携校の台湾長榮大学より、人文学部日本文化学科に本学初となるダブル・ディグリー生 2 名を受け入れた。2022 年度秋学期より 2 年半在籍し、同大学と本学の 2 つの学位

- 取得を目指す。
- ② 海外研修の実施  
コロナ禍により 2020 年度以降中止していた渡航を伴う留学を再開。春期オーストラリア・ディーキン大学海外研修（42 日間）に、本学学生 10 名が参加した。
  - ③ 交換留学生の派遣  
韓国提携校の湖西大学校に、交換留学生として政治経済学科の学生 1 名を 1 学期間派遣した（2023 年 2 月末出発）。
  - ④ 海外提携校からの交換教員の受入れ  
韓国提携校の湖西大学校より 1 名の交換教員を、2022 年度秋学期に総合研究所客員教授として受け入れた。
  - ⑤ テンプル大学ジャパンキャンパス（TUJ）英語スキルアップ講座説明会の実施  
コロナ禍における国内留学プログラムとして、夏期に TUJ の英語スキルアップ講座（5 日間）を紹介し、本学より 4 名が参加した。
  - ⑥ 学食寄付メニュープロジェクトの実施  
学生団体 Petite Arche（プチ・アルシュ）、SSC および本学 4 号館学食業者である株式会社レパストが連携し、学食の売上の一部を開発途上国の給食支援に取り組む国連 WFP（世界食糧計画）に寄付を行った。学食寄付メニューは 12 月 5 日（月）～23 日（金）の期間で実施した。
  - ⑦ 国際交流会・新入留学生歓迎会を 6 月に 1Cafe で開催。『各国における日本に対するイメージ』のテーマについてベトナム 4 名、ネパール 2 名、インドネシア 1 名の留学生在が発表を行った。当日は 52 名（教職員、日本人学生含む）が出席し盛会であった。
  - ⑧ 留学生在が異文化体験をテーマにスピーチを行う日本語弁論大会を 12 月にチャペルで開催された。8 名がスピーチし、合計 58 名の出席があった。
  - ⑨ 韓国・東国大学移住多文化統合研究所と本学総合研究所との研究交流協定が締結され、2023 年 2 月 1 日にオンラインにて締結式が執り行われた。
  - ⑩ 韓国・湖西大学校との協定に基づき、准教授 1 名が 2022 年 9 月～翌年 2 月末までの期間、総合研究所客員教授（非常勤）として着任され、本学を拠点に研究活動を行った。
- (8) 学生生徒・教職員等の活躍
- ① 大学体験プログラムの実施  
2019 年度と 2021 年度に実施している大学体験プログラムを 10 月 15 日（土）に実施した。上尾市立南中学校の生徒 19 名、教員 2 名を対象に川田虎男職員（本学非常勤講師兼ボランティア活動支援センターアドバイザー）と欧米文化学科 3 年の学生 2 名による『SDGs から考える防災』をテーマに行った。
  - ② 女子聖学院中学校での防災教室の開催  
ボランティア活動支援センター内で子ども向けの防災教室を開催しているチーム防災について、卒業生でもあるメンバーの提案により、女子聖学院中学校において、11 月 28 日（月）13:40～14:30 全中学 2 年生対象に田所陽登子（欧米文化学科 3 年、女子聖中高卒）さんと志賀瞳（欧米文化学科 3 年）さんが講師を務め防災教室を実施した。本教室がきっかけとなり、&SEIG の特集記事に掲載された。
  - ③ 埼玉県社会福祉協議会月刊誌「S・A・I」でのセンター紹介掲載  
広報誌 S・A・I 2022 年 9 月号の「今月のキラリ」コーナーに聖学院大学ボランティア活動支援センターの取り組みが紹介され、コーディネーター 2 名の写真と共に掲載された。
  - ④ 桶川市市民活動サポートセンターセミナー講師対応  
2 月 16 日（木）に表記セミナーの講師として依頼があり、センター職員 1 名と学生 3 名で発表を行った。9 名の参加があり、今後の具体的な連携についても提案があった。
  - ⑤ 市民社会をつくるボランタリーフォーラム TOKYO2023 の実行委員長に就任

長年東京ボランティア・市民活動センター（社会福祉法人東京都社会福祉協議会）が実行委員会と共に「私たちの暮らしに関わるさまざまな社会問題に焦点をあて、それを共有し、私たち市民にできることを考えていくためのイベントとして」実施している標記事業について、コーディネーターの芦澤弘子職員が実行委員長に就任し、イベントを成功させた。

- ⑥ 学生アルバイトの「ライブラリー・アシスタント」及び学生サポーターの図書館サポーター「セラエノ」として意欲的に図書館補助業務や図書館活動にあたり、図書館運営に大いに貢献した学生5名に「聖学院大学総合図書館長賞」が贈られた。

11月3日に開催された「全国大学ビブリオバトル2022」地区予選でチャンプ本を獲得した本学学生が、11月13日（日）に開催された全国Bブロック地区決戦でもチャンプ本を獲得し、12月25日（日）に浦安の明海大学で開催された全国大会・本戦準決勝に進出した。

- ⑦ 天皇賜杯第91回日本学生陸上競技対校選手権大会（9/9～11・京都府たけびしスタジアム京都）

- ・女子200m予選1組5位
- ・女子800m予選7組9位
- ・女子10000m競歩決勝22位

2022 日本学生個人陸上競技選手権大会兼F I S U代表選考会（4/15～17・神奈川県レモンガススタジアム平塚）

- ・女子200m予選1組5位
- ・女子10000m競歩決勝12位

第33回関東学生新人陸上競技選手権大会兼関東大学リレー競技会（9/17～19・神奈川県相模原市ギオンスタジアム）

- ・男子4×400mR予選1組5位
- ・女子1500m決勝3位銅メダル
- ・女子3000m決勝10位
- ・女子円盤投げ決勝8位入賞

第95回関東陸上競技選手権大会兼第107回日本陸上競技選手権大会関東地区予選会（山梨県J I Tリサイクルスタジアム小瀬スポーツ公園）

- ・女子100m決勝5位入賞
- ・女子200m決勝優勝
- ・女子800m決勝優勝
- ・女子1500m決勝8位入賞
- ・女子5000m競歩優勝
- ・女子走幅跳び決勝優勝（第107回日本陸上競技選手権大会出場権獲得）

第77回埼玉県陸上競技選手権大会兼関東陸上競技選手権大会予選会（6/25～26・埼玉県熊谷スポーツ文化公園陸上競技場）

- ・男子4×100mR決勝優勝
- ・男子4×400mR決勝7位入賞
- ・女子100m決勝3位銅メダル
- ・女子200m決勝優勝
- ・女子800m決勝優勝
- ・女子800m決勝準優勝
- ・女子800m決勝3位銅メダル
- ・女子1500m決勝優勝
- ・女子1500m決勝準優勝
- ・女子5000m競歩決勝5位入賞

- ・女子走幅跳び決勝準優勝
- ・女子やり投げ決勝4位入賞
- ・女子円盤投げ決勝6位入賞

(9) その他

① 令和4年度子ども大学あげお・いな・おけがわの実施

上尾市、伊奈町、桶川市在住の小学生高学年を対象とした「子ども大学 あげお・いな・おけがわ」が本学担当日に実施し、今回は日本文化学科の先生方に担当してもらい、6月18日(土)阿部能久教授『「武士」とはどのような人たちだったのだろう—鎌倉武士を中心に—』(参加36名)、6月25日(土)木下綾子准教授「百人一首をくずし字で読もう—院政期と鎌倉初期の和歌—」(参加37名)の講義を実施した。

② 大学公開講座の実施

上尾市教育委員会とさいたま市教育委員会共催で開催した公開講座はコロナ禍のため、教養講座(心理福祉学科担当)9名と英会話講座29名をオンラインにて実施した。

③ 11月3日、「全国大学ビブリオバトル2022」の地区予選を図書館主催で開催した。

④ 聖学院大学総合図書館が、文教大学越谷図書館と共に2022-2023年度の「埼玉県大学・短期大学図書館協議会」の共同代表幹事館に就任した。

⑤ 出版会書籍出版

聖学院大学ボランティア活動支援センター編『共に育つ“学生×大学×地域”——人生に響くボランティアコーディネーション』

西海洋志、中内政貴、中村長史、小松志朗編著『地域から読み解く「保護する責任」——普遍的な理念の多様な実践に向けて』(聖学院大学研究叢書11)

聖学院人間福祉スーパービジョンセンター編『精神保健福祉士の専門性構築の経過とスーパービジョン』(人間福祉スーパービジョン研究1)

『聖学院教育の源流——神を仰ぎ 人に仕う』復刻改訂版

## 【聖学院中学校・高等学校】

(1) 記念事業

11月3日(祝・木)「創立116周年記念礼拝」を行った。

(2) 新たな教育事業への取り組み

「情報科」「GIC」クラスを中心とした企業との連携プロジェクトへ参加した。(2月、会場は2月SHIBUYA Q`S)

(3) 教育研究の充実

- ・ICEモデルによる授業(継続)。
- ・各学年行事の充実化:中2「北アルプス蝶ヶ岳登山」、中3「糸魚川農村体験」、高1「ソーシャルデザインキャンプ」、高2「沖縄平和学習」を通して自己探求と社会貢献の可能性の模索。(継続)

(4) 教育研究の整備

- ・本館5階PCルームの改築計画準備
- ・高校1年のGIC生徒へMacBookエアーの貸与 一人1台
- ・自動採点システムの試験的導入

(5) 環境基盤の整備

- ・体育館建築準備
- ・中学棟建築検討準備
- ・監視カメラシステムの更新工事

(6) 人事の活性化

「先生の幸せ研究所」による研修を行い、ならびに年間通してのプロジェクトの実行を

- した。
- (7) 国際連携
    - ・ イギリス、オーストラリア、台湾、中国の学校との連携。
    - ・ タイの研修旅行での現地メーコックファームの子ども達と交流、国際ボランティア等を行い、今後はカンボジアなどの研修旅行も再開予定である。
  - (8) 学生生徒・教職員等の活躍
    - ・ 中学野球部：北区予選大会にて「優勝」
    - ・ 物理部：東京私立理科学研究発表会で論文発表、中高生宇宙エレベーター大会優勝（リージョナル部門）
    - ・ みつばちプロジェクト：北区王子にてタイの子どもの経済支援のためのイベントに参加した。

### 【女子聖学院中学校・高等学校】

- (1) 記念事業
 

2023年度の「120周年記念事業」に向けて始動した。
- (2) 新たなる教育事業への取り組み
 

2023年度から「3期制」へと移行することを決定。その具体化に向けての準備・調整を重ねた。
- (3) 教育研究の充実
  - 1) 2021年度から実施されている中学における「総合（探究）」の授業が2年目を迎え、「学習方略の研究」「デジタルシティズンシップ教育」「リーダーシップ教育」「ゼミ型のグループ研究」など、横断的・実践的な学びがより充実した。
  - 2) 高校1年を対象とした「探究Ⅰ」の授業が始まり、「探究するということ」「問いの立て方」「エビデンスブックの作成」など、本格的な研究と論文作成につながる学びが行われた。
  - 3) 法人の「教育デザイン開発センター」に置かれた三つのユニットでの教育研究が継続・発展した。
    - ① SDGsユニット：「電力」「フードロス」「ゴミ」などのテーマごとにグループに分かれ、男子と女子の共同チームにて、その深掘り、試行錯誤を進め、「生徒が主体となつての啓蒙活動」などに取り組んでいる。
    - ② 英語ユニット：教員職員と共に会議を進め、外部講師の指導を得るなどしながら、授業と評価に関する研究を進めている。
    - ③ ICTユニット：対生徒の視点からの「デジタルシティズンシップ教育」「各教科の授業におけるICT機器の活用」などと、対教職員の視点からの「ICT機器を活用した省力化・合理化」「有効なシステム構築」などについての研究を進めている。
- (4) 教育研究の整備
 

「高校新教育課程」に基づく教育が高校1年生について始まった。変更に伴う教育効果への影響についての検証を繰り返しつつ、学習活動の質の向上に努めた。
- (5) 環境基盤の整備
  - 1) 「一人1台持つ」となっているiPadの活用を積極的に推進するとともに、その自己管理そのものに日常的に取り組む中での学びをも進めている。
  - 2) コロナに関連した状況の変動に合わせ、安全・安心を優先した環境の用意に努めるとともに、そうした制限や縮小に伴う教育面での影響についても丁寧な検討を重ね、生徒の実質的な成長につながる教育活動の回復に努めた。
- (6) 人事の活性化
  - 1) 「組織改編・合理化委員会」を設置し、教職員間でのよりスムーズで組織的な運営を図るべく、校務分掌と委員会制の見直しを行った。また、職員会議の実施形態を見直し、

会議時間の短縮を実現した。

- 2) 2021 年度から始まった週 2 時間配当の「総合」の授業に関し、担当者と当該学年との運営体制の整備を行った。
  - 3) 法人の「教育デザイン開発センター」での活動を通して、聖学院中高・女子聖学院中高・聖学院小学校の教員間での交流が進んだ。
- (7) 国際連携
- 1) 国際理解教育プログラムとして、中 1～高 2 の各学年にて「Global 3Day Program」(海外からの留学生と共に行う 3 日間のグループ活動) を実施した。
  - 2) コロナにて「中止」となっていたさまざまな「留学」「国際交流」のプログラムを、2023 年度に再開すべく、その準備・調査を始めている。
- (8) 学生生徒・教職員等の活躍
- 【中学 吹奏楽部】
    - ・東京都中学校奏楽コンクール B 組銀賞
    - ・アンサンブルコンテスト管楽 8 重奏銀賞
  - 【高校 吹奏楽部】
    - ・東京都高等学校吹奏楽コンクール東日本組銅賞
    - ・アンサンブルコンテストフルート 3 重奏銀賞・金管 7 重奏銀賞
  - 【高校 チアリーディング部】
    - ・JOC カップ全日本高等学校チアリーディング選手権大会 決勝進出
  - 【高校 演劇部】
    - ・東京都高等学校演劇連盟城東地区大会 最優秀賞
    - ・中央大会 豊博秋記念舞台美術賞
  - 【個人 水泳】
    - ・東京都ジュニア夏季短水路 14 歳 100m 自由形 1 位
    - ・関東中学校水泳競技大会 200m 自由形 5 位、100m 自由形 6 位
    - ・全国 JOC ジュニアオリンピック夏季大会女子 13 歳～14 歳フリーリレー400m
  - 【個人 囲碁】
    - ・少年少女囲碁大会全国大会出場
  - 【個人 書道】
    - ・第 18 回日本芸術文化環境書道展 特選、秀作賞

### 【聖学院小学校】

- (1) 新たなる教育事業への取り組み
  - ・校内研修で「協同学習」をテーマに外部講師を招いて進めることができた。今後、聖学院小学校の教育の重要な柱として進めていくことになった。
- (2) 教育研究の充実
  - ・協同学習をテーマに講師を招聘して 8 月 29 日 (月) 9:30-15:30、12 月 16 日 (金) 14:00-16:00 の 2 回に渡りワークショップの形での研修会を行った。引き続き次年度も同じテーマで継続的な研修を続けることを確認。
  - ・警察署、消防署とのイベントやワークショップなどが行われ、新しい視点での安全教育を進めることができた。
- (3) 教育研究の整備
  - ・新型コロナウイルス対応の授業から、通常の授業へとシフトが進み、各教師の研修会参加や校内での研修会も積極的に計画され、実施することができた。
- (4) 環境基盤の整備
  - ・古くなり、故障や照度の低下などが目立っていた各教室のプロジェクタを照度の高い、黒板全面に照射できるものに付け替えた。西日が差し、見えづらかった午後の授業でも

実用に耐えうる明るさになり、プロジェクタの使用頻度も多くなった。

- (5) 人事の活性化
  - ・ 初任者研修会を各教師が担当し、学校の歴史や授業の心得、宗教教育などのテーマで実施した。
  - ・ 幼稚園教師とは 2022 年度も月/水/金と朝の打ち合わせを小学校職員室で行い、同じ敷地にある幼小の情報を共有した。
- (6) 国際連携
  - ・ 2022 年度は予定していたオーストラリアホームステイプログラム、ニュージーランド親子ホームステイプログラムを実施できなかったが、次年度へ向けての具体的準備を進めることができた。
  - ・ 5 年生は英語キャンプとして留学生と共に 2 泊 3 日に渡り、英語を通じた交流をしながらそれぞれの国の文化について学ぶ経験をした。

## 【聖学院幼稚園】

- (1) 記念事業

2022 年 10 月に創立 110 周年を迎え、幼稚園誕生の地である女子聖学院のクローソンホールで園児と保護者、教職員でお祝いすることができた。スライドショーを通し、幼稚園の誕生から現在までを振り返り、神様のお守りの中でたくさん子どもたちが過ごしてきたこと、保育に心を尽くしてくださった先生方を思うことができた。100 周年から 10 年という節目の年、コロナ禍ではあったが出来ることを考えて嬉しい時を過ごすことができた。
- (2) 新たなる教育事業への取り組み
  - ・ 今年度もコロナ禍での保育となり、感染対策を考えてクラスごとや学年、縦割りなどその時々状況に合わせて進める保育となった。行事に関しては縮小されていたものを少し元の様に戻す方向とし、保護者の参加も増やした。1 年間振り返っても変化のあるものとなった。
  - ・ 年長組の行事であるお泊り保育（7 月実施）は以前は御殿場へ 2 泊 3 日で行っていたが、現状まだ難しい状況もあり、今年度は幼稚園に 1 泊する計画を実施した。
- (3) 教育研究の充実

キリスト教保育連盟関東部会の研修会に参加した。オンライン研修会が続いた中で久しぶりの実参加だった。
- (4) 教育研究の整備

幼稚園で過ごす子どもたちの様々な支援について、区の支援センターの方と連携して話し合いをしている。
- (5) 環境基盤の整備

園内の Wi-Fi が新しくなり、各部屋から安定してつなげることが出来るようになった。
- (6) 人事の活性化

教職員事務の森谷倫子さんが北区私立幼稚園協会に於いて、永年勤続 10 年を受けられた。北区での表彰式が開催された。
- (7) その他
  - ・ 1 年出来なかったお餅つきを感染対策を考えながら 12 月初旬に復活させた。玉ノ井部屋の力士の方々が来園してくださり、保護者や卒園生の保護者のお手伝いがあり、搗きたての美味しいお餅をいただくことが出来、大喜びの 1 日だった。
  - ・ クリスマス会を女子聖学院のチャペルで行うことができた。2018 年 12 月以来で 4 年ぶりに全園児と保護者（2 名）、教職員でお祝いすることができた。チャペルに響き渡る讃美歌の歌声にとっても感動した。
  - ・ 音楽会も復活となり、今年度はボーマンご夫妻をお招きし、チェロとピアノのコンサー

トを開催した。チェロとピアノの音色に耳を傾け、指の動きに見入る姿もあった。子どもたちに馴染みのある曲も演奏してくださり、音を楽しむ時間となった。

- ・ 年長組のお別れ遠足は久しぶりに大型バスに乗り出かけることができた。天候や感染対策など検討し、行先は東京タワーとし、園児が階段で展望室へ昇り、楽しい思い出を作ることができた。

## 【聖学院みどり幼稚園】

### (1) 記念事業

園舎寿命を考え、法人のご理解のもと、園長を中心に、「日本一の園舎」を目指す園舎改築について検討を始動しはじめた。具体的なことは、2023 年度以降に稼働することを期待している。

### (2) 新たなる教育事業への取り組み

2022 年度より「子ども・子育て支援新制度」のうち、施設型給付を受ける幼稚園へと移行した。利用定員 105 名を満たされて 107 名からスタートした園児数は、年度末には 118 名となることができた。

### (3) 教育研究の充実

子どもたちの将来にとって、生きていく力となる非認知能力育成のため、「遊び」をカリキュラム化し、実践し、子どもの状況を教師が正しく判断しつつ必要な支援を行えるよう、原則として毎日保育後、報告会及び検討会を継続実施することができた。

### (4) 教育研究の整備

教員による自己啓発、保育研修などに積極的に参加するようになり、資質向上のための計画（研修会等）のもと、「さいたま市私立幼稚園協会職員研修会」や「キリスト教保育連盟の地区委員会での学び」、「ぐうたら村オンラインゼミナール」他の教育の質向上に向けて整備している。

### (5) 環境基盤の整備

園舎における老朽化がもっとも進んでいる南面と屋上の修繕工事を、新事務体制により、法人のご理解のもと、施工することができた。新年度に園舎の残りの修繕を予定しているが、他の老朽化も進んでおり修繕計画を再考する可能性もある。また、複数年の予定で遊具の整備を行いはじめた。

### (6) 人事の活性化

新任の保育者を 3 名採用（うち 2 名は新卒）したことにより各担任体制が整備された。事務室も本務事務職員 1 名以外に、事務長を配置し、新制度の複雑な事務に対応することができた。教職員共に力を合わせて、園の収益、環境整備（園舎中規模修繕、教具の充実、園バス運行の ICT 化など）を推し進めることができた。

### (7) 国際連携

外国籍のご家庭の園児、国際結婚をされているご家庭の園児を複数名受け入れている。国籍に捉われず、一人ひとりが大事な人格であることを思い、その子ども一人ひとりに必要な対応を心がけている（コミュニケーションに仲介が必要、全体の理解をよりスムーズにできるように援助 etc）年中・長は週に一度の英語クラスを開催。英語クラブも有。

### (8) 学生生徒・教職員等の活躍

預かり保育（オリーブ）においては、聖学院大学児童学科と共同の取り組みとして、学生スタッフ（アルバイト）の受け入れを通年行うことができた。その他、児童学科と連携して学生インターンシップなども受け入れを行っている。

### (9) その他

収入：私学助成の時（2021 年度）の収入と比べて、新制度移行後（2022 年度）は、その他収入を含めて収入約 1 億円となる見込みで、前年度より約 6 千万円の増収となっ



た。

## 【法人】

### (1) その他

- ① 2023 年度創立 120 周年を迎えるにあたり、創立 120 周年記念事業実行委員会を設立した。委員会は、駒込新館 2 階で月一回開催している。
- ② 7 月に夏期特別理事会を開催し、学校法人財政関連の研修として、高橋克典氏（新創監査法人代表社員、公認会計士、税理士、学校法人聖学院監事）による「聖学院財政の V 字回復と今後のあり方～財の確立なくして、学の独立なし～」と題した講演が行われた。
- ③ 駒込キャンパスハラスメント防止・人権情報保護委員会では、できるだけ多くの声を集めることで、ハラスメントに対する理解の相違や実情を把握するとともに、具体的で実行可能な予防策、早期対応のための支援策を探っていくため、2022 年 10 月～11 月にかけて、駒込キャンパスハラスメント防止・人権情報保護委員会教職員対象ハラスメントに関するアンケートを行った。各校のアンケート集計結果を集約し、委員長から理事長に報告（今後の対策も含む）した。また、ハラスメント防止啓発活動の一環として駒込キャンパスの各校教職員にリーフレットを作成して配布した。法人ホームページで委員会の情報公開も行っている。
- ④ 2022 年 6 月 23 日（木）に第 36 回 ASF 総会・推進委員会を開催した。2021 年度に引き続き新型コロナウイルスの影響を考慮して、Zoom によるオンラインでの開催とし、第一部を礼拝、第二部を総会・推進委員会として行い、教職員含め 54 名が出席した。ASF 募金の感謝に加え、第一期聖学院ビジョンの進捗や聖学院創立 120 周年（2023 年度）への展望、新たな事業計画、募金目標等が伝えられた。
- ⑤ 駒込キャンパス 3 校（聖学院小学校、聖学院中高、女子聖学院中高）における教育研究を行う機関として、2021 年度「教育デザイン開発センター」が設置され、2 年目を迎えた。ESD・SDGs 教育ユニットでは、男子女子中高合同の「SDGs 環境エコプロジェクト」が年間を通して行われ、2023 年 3 月には聖学院中高および女子聖学院中高生徒が主体となって企画した「聖学院 SDGs 環境デー（体験イベント）」が、聖学院小学校児童を対象に開催された。英語・グローバル教育ユニットでは、英語科教員により生徒のアウトプットにつながる授業研究を継続して行った。ICT 活用教育ユニットでは、教員向けに 11 月と 2 月の 2 回、ICT 活用授業デザイン研究会が開催されたほか、小中接続期におけるデジタル・シティズンシップ教育の研究が進められた。

### Ⅲ. 財務の概要

#### 1. 各計算書の科目について

##### 資金収支・活動区分資金収支・事業活動収支計算書に共通する主な科目

###### 《学生生徒等納付金》

授業料、施設費、入学金等で、収入のうち最も大きな割合を占めます。

###### 《手数料》

入学検定料、試験料、証明書発行手数料などです。

###### 《寄付金》

特別寄付金（A S F 募金など）、一般寄付金、現物寄付金（事業活動収支のみ）

###### 《補助金》

国や地方公共団体などから交付される補助金です。

###### 《付随事業・収益事業収入》

給食などの補助活動や、外部から委託を受けて行う受託事業収入が計上されます。

###### 《受取利息・配当金収入》

第3号基本金引当特定資産運用収入など預貯金の受取利息が大きな割合を占めます。

###### 《雑収入》

退職金財団の交付金収入が大きな割合を占めます。また施設設備利用料収入はこの科目に含まれます。

###### 《人件費》

教員人件費、職員人件費、役員報酬、退職金が計上されます。退職金については、事業活動収支計算書上、東京都私学財団交付金（雑収入）と相殺処理を行っています。

###### 《教育研究経費》

教育・研究活動のために支出する経費です。

###### 《管理経費》

総務・人事・経理業務、学生募集など教育・研究活動以外に支出する経費です。

##### 資金収支計算書だけにみられる主な科目

###### 《資産売却収入》

不動産などの固定資産の売却による収入です。

###### 《借入金収入》

長期、短期の借入金について計上されます。

###### 《前受金収入》

翌年度分の授業料、施設費などが当年度に納入された収入です。

###### 《資金収入、資金支出調整勘定》

資金の実際の収支を当年度の諸活動に対応する収支に修正する勘定で以下のものがあります。

期末未収入金・・・当年度中に収受すべき収入のうち入金が翌年度以降になるもの。

前期末前受金・・・当年度中に収受すべき収入のうち前年度までに入金済のもの。

期末未払金・・・当年度中に支払うべき支出のうち翌年度以降に支払うもの。

前期末前払金・・・当年度中に支払うべき支出のうち前年度までに支払済のもの。

#### 《施設関係支出》

土地、建物、構築物、建設仮勘定などの支出をいいます。

#### 《設備関係支出》

教育研究用機器備品、管理用機器備品、図書、車両などの支出をいいます。

### 事業活動収支計算書だけにみられる主な科目

#### 《事業活動支出》

人件費、教育研究経費、管理経費、借入金利息など資金収支計算書と同様の科目の他に、退職給与引当金繰入額、減価償却額、徴収不能引当金、徴収不能額等の非資金項目も計上します。

#### 《特別収支》

資産売却差額・・・不動産などを売却しその売却収入が帳簿価格を超える場合に、その差額を計上します。

現物寄付・・・備品や図書などの現物で寄付されたものを計上します。

資産処分差額・・・建物、構築物、機器備品等を除却する場合、その処分時点の帳簿残高を計上します。

#### 《事業活動支出》

人件費、教育研究経費、管理経費、借入金利息など資金収支計算書と同様の科目の他に、退職給与引当金繰入額、減価償却額、徴収不能引当金、徴収不能額等の非資金項目も計上します。

#### 《基本金組入額》

学校が教育研究活動を維持・運営していく上で、基盤となる校地や校舎、機器備品、図書などの固定資産の他各種の基金などの保有額を示すもので、第1号から第4号までの種類があります。

第1号基本金・・・校地・校舎・機器備品・図書などの固定資産の取得額。

第2号基本金・・・将来必要な固定資産を取得するために計画的に組入れていく積立金。

第3号基本金・・・寄付金等の資金でつくられたファンド。利息等で奨学事業等を行う。

第4号基本金・・・学校が諸活動を円滑に遂行するため、恒常的に保持すべき資金。

### 貸借対照表にみられる主な科目

#### 《固定資産》

土地、建物などの有形固定資産、継続的に学校運営をおこなうための特定資産、保証金などのその他の固定資産から構成されています。

#### 《流動資産》

現金預金、未収入金、貯蔵品など。

#### 《固定負債》

施設設備のために借り入れた長期借入金、リース資産の長期未払金など。

#### 《流動負債》

1年以内に返済する長期借入分および運転資金の短期借入金、未払金、前受金、預り金。

#### 《基本金》

第1号基本金、第3号基本金、第4号基本金。

## 2. 決算の概要

### ①貸借対照表関係

#### ア) 貸借対照表の状況と経年比較

貸借対照表は、当該会計年度における資産及び負債、純資産の状況を表すもので、本法人の財政状況を明らかにするものです。

#### 貸借対照表

2023年3月31日

(単位 円)

| 資産の部             |                  |                  |               |
|------------------|------------------|------------------|---------------|
| 科目               | 本年度末             | 前年度末             | 増 減           |
| 固定資産             | 15,138,353,760   | 15,491,922,287   | △ 353,568,527 |
| 有形固定資産           | 11,968,591,940   | 12,235,502,961   | △ 266,911,021 |
| 土地               | 2,309,484,869    | 2,309,484,869    | 0             |
| 建物               | 7,784,721,238    | 8,110,719,342    | △ 325,998,104 |
| 構築物              | 139,700,446      | 158,132,769      | △ 18,432,323  |
| 教育研究用機器備品        | 309,697,808      | 319,764,894      | △ 10,067,086  |
| 管理用機器備品          | 30,251,212       | 27,227,311       | 3,023,901     |
| 図書               | 1,278,869,765    | 1,275,490,084    | 3,379,681     |
| 車両               | 807,414          | 1,043,852        | △ 236,438     |
| 建設仮勘定            | 115,059,188      | 33,639,840       | 81,419,348    |
| 特定資産             | 3,127,619,012    | 3,218,585,531    | △ 90,966,519  |
| 第3号基本金引当特定資産     | 55,285,982       | 55,285,840       | 142           |
| 退職給与引当特定資産       | 300,146,353      | 350,145,853      | △ 49,999,500  |
| 減価償却引当特定資産       | 1,033,740,390    | 1,064,106,715    | △ 30,366,325  |
| 後継者育成引当特定資産      | 8,999,906        | 8,999,818        | 88            |
| 大木スカラシップ引当特定資産   | 0                | 25,765           | △ 25,765      |
| 聖学院大学緑聖賞基金引当特定資産 | 3,982,447        | 3,982,409        | 38            |
| 将来計画引当特定資産       | 230,392,561      | 230,391,343      | 1,218         |
| 小学校特別引当特定資産      | 11,602,688       | 11,602,573       | 115           |
| 男子中高特別引当特定資産     | 435,055,545      | 343,191,835      | 91,863,710    |
| 全聖学院特別引当特定資産     | 920,460,152      | 1,020,459,018    | △ 99,998,866  |
| 奨学充実引当特定資産       | 87,921,468       | 90,363,240       | △ 2,441,772   |
| 出版助成引当特定資産       | 40,031,520       | 40,031,122       | 398           |
| その他の固定資産         | 42,142,808       | 37,833,795       | 4,309,013     |
| 電話加入権            | 2,659,327        | 2,659,327        | 0             |
| ソフトウェア           | 21,962,707       | 12,247,653       | 9,715,054     |
| SGS出資金           | 10,000,000       | 10,000,000       | 0             |
| 長期貸付金            | 6,849,544        | 6,131,895        | 717,649       |
| 保証金・敷金           | 671,230          | 591,140          | 80,090        |
| ソフトウェア仮勘定        | 0                | 6,203,780        | △ 6,203,780   |
| 流動資産             | 886,204,266      | 983,554,992      | △ 97,350,726  |
| 現金預金             | 660,196,677      | 690,498,879      | △ 30,302,202  |
| 未収入金             | 169,489,316      | 242,461,303      | △ 72,971,987  |
| 貯蔵品              | 9,398,278        | 9,213,366        | 184,912       |
| 短期貸付金            | 9,453,245        | 9,816,040        | △ 362,795     |
| 前払金              | 37,162,098       | 30,844,536       | 6,317,562     |
| 立替金              | 504,652          | 720,868          | △ 216,216     |
| 資産の部合計           | 16,024,558,026   | 16,475,477,279   | △ 450,919,253 |
| 負債の部             |                  |                  |               |
| 科目               | 本年度末             | 前年度末             | 増 減           |
| 固定負債             | 2,159,232,344    | 2,209,267,049    | △ 50,034,705  |
| 長期借入金            | 584,061,000      | 644,513,000      | △ 60,452,000  |
| 長期未払金            | 65,638,920       | 93,483,176       | △ 27,844,256  |
| 退職給与引当金          | 1,509,532,424    | 1,471,270,873    | 38,261,551    |
| 流動負債             | 3,289,847,922    | 3,483,511,317    | △ 193,663,395 |
| 短期借入金            | 1,850,952,000    | 1,907,484,000    | △ 56,532,000  |
| 未払金              | 371,281,113      | 508,953,048      | △ 137,671,935 |
| 前受金              | 510,983,185      | 611,222,230      | △ 100,239,045 |
| 預り金              | 556,631,624      | 455,852,039      | 100,779,585   |
| 負債の部合計           | 5,449,080,266    | 5,692,778,366    | △ 243,698,100 |
| 純資産の部            |                  |                  |               |
| 科目               | 本年度末             | 前年度末             | 増 減           |
| 基本金              | 23,854,260,239   | 23,569,587,985   | 284,672,254   |
| 第1号基本金           | 23,310,974,257   | 23,026,302,145   | 284,672,112   |
| 第3号基本金           | 55,285,982       | 55,285,840       | 142           |
| 第4号基本金           | 488,000,000      | 488,000,000      | 0             |
| 繰越収支差額           | △ 13,278,782,479 | △ 12,786,889,072 | △ 491,893,407 |
| 翌年度繰越収支差額        | △ 13,278,782,479 | △ 12,786,889,072 | △ 491,893,407 |
| 純資産の部合計          | 10,575,477,760   | 10,782,698,913   | △ 207,221,153 |
| 負債及び純資産の部合計      | 16,024,558,026   | 16,475,477,279   | △ 450,919,253 |

## I) 資産の部

資産の部では、固定資産が前年度対比△354百万円の15,138百万円となった。その主な要因は、減価償却費の計上額よりも固定資産の取得が少なかったことによる。また、特定資産は、前年度対比91百万円減の3,128百万円となった。今年度の特定資産の主な変動は、運転資金の不足を補うため全聖学院特別引当特定資産100百万円、年度末退職金に対応するため退職給与引当特定資産50百万円、大学パイプオルガンに係る積立金30百万円、奨学充実引当特定資産3百万円をそれぞれ取り崩したこと、一方、男子中高の特別積立金として92百万円、を積み立て実質は△91百万円となった。流動資産は、前年度対比△97百万円の886百万円となり、その主な要因は、資金収支計算書に記載した現預金の減少による影響額△30百万円、未収入金の減少による影響額△73百万円等である。

## II) 負債の部

負債の部では、固定負債が前年度対比△50百万円の2,159百万円となった。その主な要因は、過年度に施設設備資金として借り入れた長期借入金の計画的返済による減少分△60百万円、リース取引により発生した長期未払金の返済分△28百万円となり、退職給与引当金については38百万円の増加となった。流動負債は、前年度対比△194百万円の3,290百万円となり、その主な要因は、新入生数減による前受金△100百万円、その他には昨年度と比較して短期借入金減少△57百万円や未払金減少△138百万円となっている。なお、コロナウイルス感染症の影響も徐々に落ち着きを見せ、修学旅行等の行事が実施されることから生徒積立金や学年費といった預り金の支出が増加したが、今年度は大学周辺会計の一部預り金残高を受け入れた結果、預り金は101百万円の増加となった。

## III) 純資産の部

純資産の部では、基本金が前年度対比285百万円増の28,854百万円となった。この内の大半は、施設・設備関係の第1号基本金である。繰越収支差額は、事業活動収支計算書と同一の△13,279百万円と支出超過となっている。当年度末の正味財産(資産の部合計－負債の部合計)は、10,575百万円となり前年度対比207百万円減となった。

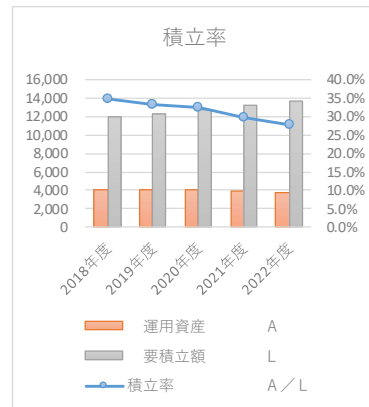
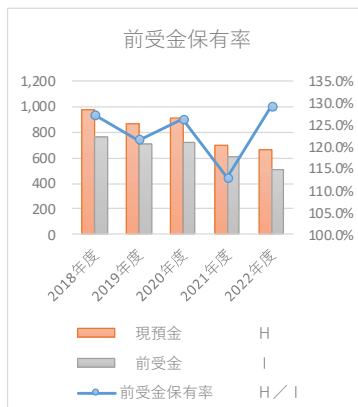
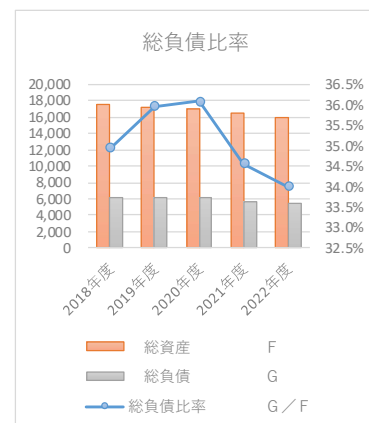
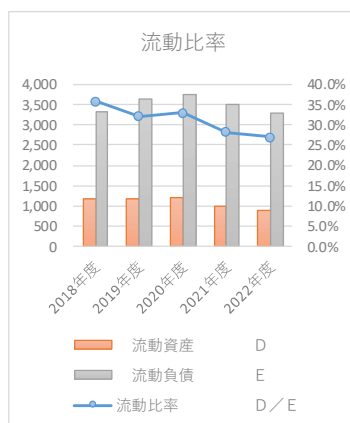
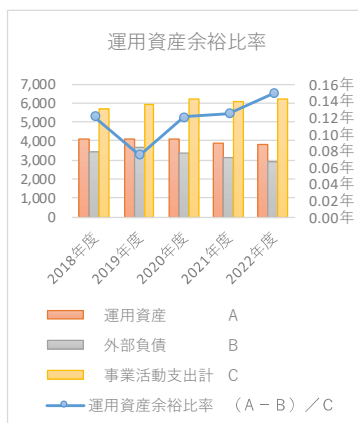
(単位 百万円)

|             | 2018年度   | 2019年度   | 2020年度   | 2021年度   | 2022年度   |
|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 固定資産        | 16,275   | 16,058   | 15,676   | 15,492   | 15,138   |
| 流動資産        | 1,181    | 1,170    | 1,226    | 984      | 886      |
| 資産の部合計      | 17,455   | 17,227   | 16,902   | 16,475   | 16,025   |
| 固定負債        | 2,791    | 2,542    | 2,368    | 2,209    | 2,159    |
| 流動負債        | 3,310    | 3,652    | 3,730    | 3,484    | 3,290    |
| 負債の部合計      | 6,101    | 6,194    | 6,098    | 5,693    | 5,449    |
| 基本金         | 22,531   | 22,894   | 23,134   | 23,570   | 23,854   |
| 繰越収支差額      | △ 11,177 | △ 11,861 | △ 12,331 | △ 12,787 | △ 13,279 |
| 純資産の部合計     | 11,355   | 11,033   | 10,804   | 10,783   | 10,575   |
| 負債及び純資産の部合計 | 17,455   | 17,227   | 16,902   | 16,475   | 16,025   |

イ) 財務比率の経年比較

(単位 百万円)

|                      | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|----------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 運用資産余裕比率 (A - B) / C | 0.12年  | 0.07年  | 0.12年  | 0.12年  | 0.15年  |
| 運用資産 A               | 4,130  | 4,073  | 4,123  | 3,909  | 3,788  |
| 外部負債 B               | 3,440  | 3,633  | 3,380  | 3,154  | 2,872  |
| 事業活動支出計 C            | 5,707  | 5,896  | 6,173  | 6,063  | 6,184  |
| 流動比率 D / E           | 35.7%  | 32.0%  | 32.9%  | 28.2%  | 26.9%  |
| 流動資産 D               | 1,181  | 1,170  | 1,226  | 984    | 886    |
| 流動負債 E               | 3,310  | 3,652  | 3,730  | 3,484  | 3,290  |
| 総負債比率 G / F          | 35.0%  | 36.0%  | 36.1%  | 34.6%  | 34.0%  |
| 総資産 F                | 17,455 | 17,227 | 16,902 | 16,475 | 16,025 |
| 総負債 G                | 6,101  | 6,194  | 6,098  | 5,693  | 5,449  |
| 前受金保有率 H / I         | 127.1% | 121.5% | 126.2% | 112.9% | 129.2% |
| 現預金 H                | 970    | 860    | 902    | 690    | 660    |
| 前受金 I                | 763    | 708    | 715    | 611    | 511    |
| 基本金比率 J / K          | 94.6%  | 95.3%  | 96.0%  | 96.7%  | 97.2%  |
| 基本金 J                | 22,531 | 22,894 | 23,134 | 23,570 | 23,854 |
| 基本金要組入額 K            | 23,810 | 24,011 | 24,093 | 24,377 | 24,537 |
| 積立率 A / L            | 34.7%  | 33.2%  | 32.4%  | 29.7%  | 27.8%  |
| 運用資産 A               | 4,130  | 4,073  | 4,123  | 3,909  | 3,788  |
| 要積立額 L               | 11,897 | 12,279 | 12,730 | 13,161 | 13,623 |



②資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

資金収支計算書は、企業が作成するキャッシュフロー計算書に類似したもので、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。

資金収支計算書

2022年4月1日から  
2023年3月31日まで

(単位 円)

| 収入の部              | 科 目 | 予 算           | 決 算           | 差 異          |
|-------------------|-----|---------------|---------------|--------------|
| 学生生徒等納付金収入        |     | 3,795,825,000 | 3,795,899,000 | △ 74,000     |
| 授業料収入             |     | 2,662,941,000 | 2,663,333,700 | △ 392,700    |
| 入学金収入             |     | 315,819,000   | 316,060,000   | △ 241,000    |
| 実験実習料収入           |     | 13,378,000    | 13,458,000    | △ 80,000     |
| 教育拡充費収入           |     | 26,350,000    | 26,340,000    | 10,000       |
| 施設費収入             |     | 648,718,000   | 648,232,000   | 486,000      |
| 施設拡充費収入           |     | 118,396,000   | 118,380,000   | 16,000       |
| 施設等利用給付費収入        |     | 2,323,000     | 2,206,300     | 116,700      |
| 特定保育料収入           |     | 7,900,000     | 7,889,000     | 11,000       |
| 手数料収入             |     | 47,223,000    | 49,404,800    | △ 2,181,800  |
| 入学受入準備料収入         |     | 43,412,000    | 45,747,000    | △ 2,335,000  |
| 試験料収入             |     | 270,000       | 198,000       | 72,000       |
| 証明手数料収入           |     | 1,871,000     | 1,749,800     | 121,200      |
| 入学受入準備費収入         |     | 1,670,000     | 1,710,000     | △ 40,000     |
| 寄付金収入             |     | 359,466,000   | 360,955,585   | △ 1,489,585  |
| 特別寄付金収入           |     | 359,466,000   | 360,955,585   | △ 1,489,585  |
| 補助金収入             |     | 1,471,738,000 | 1,506,620,250 | △ 34,882,250 |
| 国庫補助金収入           |     | 398,222,000   | 431,261,800   | △ 33,039,800 |
| 地方公共団体補助金収入       |     | 913,106,000   | 912,598,426   | 507,574      |
| 東京都私学財団補助金収入      |     | 66,413,000    | 68,275,257    | △ 1,862,257  |
| 施設型給付費収入          |     | 89,133,000    | 91,026,326    | △ 1,893,326  |
| その他補助金収入          |     | 4,864,000     | 3,458,441     | 1,405,559    |
| 資産売却収入            |     | 0             | 18,600        | △ 18,600     |
| 設備売却収入            |     | 0             | 18,600        | △ 18,600     |
| 付随事業・収益事業収入       |     | 109,810,000   | 100,121,446   | 9,688,554    |
| 補助活動収入            |     | 109,610,000   | 99,935,596    | 9,674,404    |
| 受託事業収入            |     | 200,000       | 185,850       | 14,150       |
| 受取利息・配当金収入        |     | 198,000       | 55,136        | 142,864      |
| 第3号基本金引当特定資産運用収入  |     | 7,000         | 848           | 6,152        |
| その他の受取利息・配当金収入    |     | 191,000       | 54,288        | 136,712      |
| 雑収入               |     | 181,970,000   | 197,155,534   | △ 15,185,534 |
| 施設設備利用料収入         |     | 26,435,000    | 37,541,010    | △ 11,106,010 |
| 廃品売却収入            |     | 0             | 22,000        | △ 22,000     |
| 私大退職金財団交付金収入      |     | 103,938,000   | 103,937,300   | 700          |
| 東京都私学財団交付金収入      |     | 37,485,000    | 37,484,337    | 663          |
| 入学案内頒布収入          |     | 571,000       | 676,000       | △ 105,000    |
| 文献複写費収入           |     | 0             | 41,510        | △ 41,510     |
| 過年度修正収入           |     | 0             | 673,630       | △ 673,630    |
| その他の雑収入           |     | 13,541,000    | 16,779,747    | △ 3,238,747  |
| 借入金等収入            |     | 590,750,000   | 590,750,000   | 0            |
| 長期借入金収入           |     | 1,750,000     | 1,750,000     | 0            |
| 短期借入金収入           |     | 589,000,000   | 589,000,000   | 0            |
| 前受金収入             |     | 523,829,000   | 510,983,185   | 12,845,815   |
| 授業料前受金収入          |     | 159,479,000   | 148,610,900   | 10,868,100   |
| 入学金前受金収入          |     | 262,700,000   | 261,440,000   | 1,260,000    |
| 施設費前受金収入          |     | 86,400,000    | 83,450,000    | 2,950,000    |
| 教育拡充費前受金収入        |     | 6,000,000     | 5,435,000     | 565,000      |
| 施設拡充費前受金収入        |     | 9,250,000     | 9,500,000     | △ 250,000    |
| その他前受金収入          |     | 0             | 2,547,285     | △ 2,547,285  |
| その他の収入            |     | 713,913,000   | 687,665,466   | 26,247,534   |
| 退職給与引当特定資産取崩収入    |     | 50,000,000    | 50,000,000    | 0            |
| 減価償却引当特定資産取崩収入    |     | 33,284,000    | 33,981,348    | △ 697,348    |
| 大木スラッシュ引当特定資産取崩収入 |     | 0             | 25,765        | △ 25,765     |
| 全聖学院特別引当特定資産取崩収入  |     | 250,000,000   | 250,000,000   | 0            |
| 奨学充実引当特定資産取崩収入    |     | 3,000,000     | 2,952,663     | 47,337       |
| 前期末未収入金収入         |     | 247,402,000   | 231,138,399   | 16,263,601   |
| 貸付金回収収入           |     | 17,794,000    | 18,054,928    | △ 260,928    |
| 預り金収入             |     | 112,433,000   | 100,779,585   | 11,653,415   |
| 立替金収入             |     | 0             | 720,868       | △ 720,868    |
| 保証金・敷金回収収入        |     | 0             | 11,910        | △ 11,910     |
| 資金収入調整勘定          | △   | 872,992,000   | 780,288,642   | △ 92,703,358 |
| 期末未収入金            | △   | 261,768,000   | 169,066,412   | △ 92,701,588 |
| 前期末前受金            | △   | 611,224,000   | 611,222,230   | △ 1,770      |
| 前年度繰越支払資金         |     | 690,499,000   | 690,498,879   | 121          |
| 収入の部合計            |     | 7,612,229,000 | 7,709,839,239 | △ 97,610,239 |

| 支出の部                 |   |               |               |               |
|----------------------|---|---------------|---------------|---------------|
| 科                    | 目 | 予 算           | 決 算           | 差 異           |
| 人件費支出                |   | 3,865,551,000 | 3,877,321,141 | △ 11,770,141  |
| 教員人件費支出              |   | 2,477,859,000 | 2,489,828,787 | △ 11,969,787  |
| 職員人件費支出              |   | 1,168,868,000 | 1,168,967,492 | △ 99,492      |
| 役員報酬支出               |   | 7,713,000     | 7,714,792     | △ 1,792       |
| 退職金支出                |   | 211,111,000   | 210,810,070   | 300,930       |
| 教育研究経費支出             |   | 1,386,652,000 | 1,216,571,172 | 170,080,828   |
| 消耗品費支出               |   | 110,661,000   | 78,176,079    | 32,484,921    |
| 光熱水費支出               |   | 132,177,000   | 133,026,380   | △ 849,380     |
| 旅費交通費支出              |   | 50,529,000    | 33,221,780    | 17,307,220    |
| 奨学費支出                |   | 279,584,000   | 272,287,886   | 7,296,114     |
| 通信運搬費支出              |   | 30,530,000    | 14,144,089    | 16,385,911    |
| 印刷製本費支出              |   | 34,305,000    | 26,007,138    | 8,297,862     |
| 出版物費支出               |   | 34,190,000    | 30,173,106    | 4,016,894     |
| 研究費支出                |   | 41,737,000    | 30,259,902    | 11,477,098    |
| 諸会費支出                |   | 3,341,000     | 3,421,219     | △ 80,219      |
| 会議費支出                |   | 16,537,000    | 7,568,555     | 8,968,445     |
| 報酬・委託・手数料支出          |   | 364,018,000   | 370,826,810   | △ 6,808,810   |
| 福利費支出                |   | 7,941,000     | 7,271,879     | 669,121       |
| 修繕費支出                |   | 111,038,000   | 75,798,755    | 35,239,245    |
| 式典費支出                |   | 1,071,000     | 460,657       | 610,343       |
| 貸借料支出                |   | 55,740,000    | 51,208,523    | 4,531,477     |
| 補助活動仕入支出             |   | 85,498,000    | 66,665,017    | 18,832,983    |
| 生徒活動補助金支出            |   | 12,814,000    | 9,154,700     | 3,659,300     |
| 建物等解体撤去費支出           |   | 0             | 2,929,737     | △ 2,929,737   |
| 雑費支出                 |   | 14,941,000    | 3,968,960     | 10,972,040    |
| 管理経費支出               |   | 636,452,000   | 580,613,379   | 55,838,621    |
| 消耗品費支出               |   | 12,767,000    | 7,733,137     | 5,033,863     |
| 光熱水費支出               |   | 9,303,000     | 10,944,685    | △ 1,641,685   |
| 旅費交通費支出              |   | 5,922,000     | 2,923,385     | 2,998,615     |
| 通信運搬費支出              |   | 22,622,000    | 24,379,188    | △ 1,757,188   |
| 印刷製本費支出              |   | 46,856,000    | 41,116,018    | 5,739,982     |
| 出版物費支出               |   | 542,000       | 2,210,900     | △ 1,668,900   |
| 諸会費支出                |   | 8,777,000     | 9,722,315     | △ 945,315     |
| 会議費支出                |   | 8,711,000     | 2,937,576     | 5,773,424     |
| 報酬・委託・手数料支出          |   | 196,139,000   | 179,383,606   | 16,755,394    |
| 福利費支出                |   | 342,000       | 4,170,370     | △ 3,828,370   |
| 修繕費支出                |   | 10,293,000    | 4,582,025     | 5,710,975     |
| 保険料支出                |   | 10,874,000    | 10,954,989    | △ 80,989      |
| 広報費支出                |   | 224,486,000   | 201,403,432   | 23,082,568    |
| 法人費支出                |   | 211,000       | 130,502       | 80,498        |
| 車両費支出                |   | 1,224,000     | 702,145       | 521,855       |
| 渉外費支出                |   | 3,144,000     | 1,124,301     | 2,019,699     |
| 公租公課支出               |   | 2,270,000     | 2,897,640     | △ 627,640     |
| 貸借料支出                |   | 8,884,000     | 8,823,605     | 60,395        |
| 特別奨学費支出              |   | 3,000,000     | 3,000,000     | 0             |
| 入学検定料免除額             |   | 0             | 370,000       | △ 370,000     |
| 補助活動仕入支出             |   | 50,377,000    | 48,496,812    | 1,880,188     |
| 建物等解体撤去費支出           |   | 0             | 132,000       | △ 132,000     |
| 授業料等減免費返還金支出         |   | 0             | 116,700       | △ 116,700     |
| 過年度修正支出              |   | 0             | 807,461       | △ 807,461     |
| 雑費支出                 |   | 9,708,000     | 11,550,587    | △ 1,842,587   |
| 借入金等利息支出             |   | 11,002,000    | 10,902,702    | 99,298        |
| 借入金利息支出              |   | 11,002,000    | 10,902,702    | 99,298        |
| 借入金等返済支出             |   | 707,734,000   | 707,734,000   | 0             |
| 借入金返済支出              |   | 707,734,000   | 707,734,000   | 0             |
| 施設関係支出               |   | 98,730,000    | 105,793,390   | △ 7,063,390   |
| 建物支出                 |   | 17,850,000    | 22,665,106    | △ 4,815,106   |
| 構築物支出                |   | 84,000        | 1,708,936     | △ 1,624,936   |
| 建設仮勘定支出              |   | 80,796,000    | 81,419,348    | △ 623,348     |
| 設備関係支出               |   | 78,587,000    | 113,873,334   | △ 35,286,334  |
| 教育研究用機器備品支出          |   | 51,279,000    | 81,855,273    | △ 30,576,273  |
| 管理用機器備品支出            |   | 6,325,000     | 9,862,861     | △ 3,537,861   |
| 図書支出                 |   | 9,956,000     | 11,573,200    | △ 1,617,200   |
| ソフトウェア支出             |   | 11,027,000    | 10,582,000    | 445,000       |
| 資産運用支出               |   | 245,460,000   | 245,993,257   | △ 533,257     |
| 第3号基本金引当特定資産繰入支出     |   | 0             | 142           | △ 142         |
| 退職給与引当特定資産繰入支出       |   | 0             | 500           | △ 500         |
| 減価償却引当特定資産繰入支出       |   | 3,600,000     | 3,615,023     | △ 15,023      |
| 後継者育成引当特定資産繰入支出      |   | 0             | 88            | △ 88          |
| 聖学院大学緑聖賞基金引当特定資産繰入支出 |   | 0             | 38            | △ 38          |
| 将来計画引当特定資産繰入支出       |   | 0             | 1,218         | △ 1,218       |
| 小学校特別引当特定資産繰入支出      |   | 0             | 115           | △ 115         |
| 男子中高特別引当特定資産繰入支出     |   | 91,860,000    | 91,863,710    | △ 3,710       |
| 全聖学院特別引当特定資産繰入支出     |   | 150,000,000   | 150,001,134   | △ 1,134       |
| 奨学充実引当特定資産繰入支出       |   | 0             | 510,891       | △ 510,891     |
| 出版助成引当特定資産繰入支出       |   | 0             | 398           | △ 398         |
| その他の支出               |   | 563,923,000   | 565,121,580   | △ 1,198,580   |
| 貸付金支払支出              |   | 18,411,000    | 18,409,782    | 1,218         |
| 前期末未払金支払支出           |   | 510,019,000   | 508,953,048   | 1,065,952     |
| 前払金支払支出              |   | 35,493,000    | 37,162,098    | △ 1,669,098   |
| 立替金支出                |   | 0             | 504,652       | △ 504,652     |
| 保証金・敷金支出             |   | 0             | 92,000        | △ 92,000      |
| (予備費)                |   | (0)           |               | 0             |
| 資金支出調整勘定             |   | △ 724,297,000 | △ 374,281,393 | △ 350,015,607 |
| 期末未払金                |   | △ 693,452,000 | △ 343,436,857 | △ 350,015,143 |
| 前期末前払金               |   | △ 30,845,000  | △ 30,844,536  | △ 464         |
| 翌年度繰越支払資金            |   | 742,435,000   | 660,196,677   | 82,238,323    |
| 支出の部合計               |   | 7,612,229,000 | 7,709,839,239 | △ 97,610,239  |



収入の部は、学生生徒等納付金収入、寄付金収入、補助金収入、付随事業・収益事業収入、借入金等収入、前受金収入などで収入の部合計が前年度比 2.55%減の 7,710 百万円となり、前年度繰越支払資金を除いた当年度収入合計は前年度比 0.16%増の 7,020 百万円となりました。ただし、学院の収入の根幹となる科目としては、学生生徒等納付金収入が前年度比 4.17%減の 3,796 百万円、寄付金収入が前年度比 8.14%減の 361 百万円、補助金収入が前年度比 6.80%増の 1,507 百万円となりました。

支出の部は、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、借入金等返済支出、施設・設備関係支出などで当年度支出合計が前年度比 2.37%減の 7,050 百万円となりました。

上記の結果、翌年度繰越支払資金は、4.35%減の 660 百万円（前年度 690 百万円）となりました。

(単位 百万円)

| 科目名         | 2018年度 | 2019年度  | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|-------------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 学生生徒等納付金収入  | 3,402  | 3,634   | 3,798  | 3,961  | 3,796  |
| 手数料収入       | 67     | 71      | 66     | 55     | 49     |
| 寄付金収入       | 370    | 381     | 418    | 393    | 361    |
| 補助金収入       | 1,234  | 1,252   | 1,395  | 1,411  | 1,507  |
| 資産売却収入      | 4      | 0       | 0      | 0      | 0      |
| 付随事業・収益事業収入 | 112    | 110     | 69     | 91     | 100    |
| 受取利息・配当金収入  | 0      | 0       | 0      | 0      | 0      |
| 雑収入         | 188    | 285     | 258    | 258    | 197    |
| 借入金等収入      | 722    | 1,522   | 617    | 581    | 591    |
| 前受金収入       | 763    | 708     | 715    | 611    | 511    |
| その他の収入      | 296    | 257     | 804    | 610    | 688    |
| 資金収入調整勘定    | △ 848  | △ 1,025 | △ 983  | △ 962  | △ 780  |
| 前年度繰越支払資金   | 982    | 970     | 860    | 902    | 690    |
| 収入の部合計      | 7,292  | 8,166   | 8,017  | 7,912  | 7,710  |

| 支出の部      | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 人件費支出     | 3,591  | 3,972  | 3,924  | 4,028  | 3,877  |
| 教育研究経費支出  | 1,014  | 1,016  | 1,198  | 1,138  | 1,217  |
| 管理経費支出    | 550    | 588    | 547    | 528    | 581    |
| 借入金等利息支出  | 13     | 13     | 12     | 11     | 11     |
| 借入金等返済支出  | 854    | 1,518  | 771    | 713    | 708    |
| 施設関係支出    | 113    | 190    | 19     | 232    | 106    |
| 設備関係支出    | 87     | 67     | 120    | 90     | 114    |
| 資産運用支出    | 184    | 123    | 418    | 332    | 246    |
| その他の支出    | 336    | 390    | 640    | 642    | 565    |
| 資金支出調整勘定  | △ 421  | △ 570  | △ 536  | △ 493  | △ 374  |
| 翌年度繰越支払資金 | 970    | 860    | 902    | 690    | 660    |
| 支出の部合計    | 7,292  | 8,166  | 8,017  | 7,912  | 7,710  |

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

活動区分資金収支計算書の区分については教育活動による資金収支、施設設備等活動による資金収支、その他の活動（借入金収入、資産運用支出など）による資金収支の3区分となります。それぞれ区分ごとの資金の流れが明確になっています。

活動区分資金収支計算書

2022年4月1日から  
2023年3月31日まで

(単位 円)

|                              | 科 目                  | 金額            |
|------------------------------|----------------------|---------------|
| 教育活動による資金収支                  | 収入                   |               |
|                              | 学生生徒等納付金収入           | 3,795,899,000 |
|                              | 手数料収入                | 49,404,800    |
|                              | 特別寄付金収入              | 265,985,634   |
|                              | 経常費等補助金収入            | 1,489,037,250 |
|                              | 付随事業収入               | 100,121,446   |
|                              | 雑収入                  | 196,481,904   |
|                              | 教育活動資金収入計            | 5,896,930,034 |
|                              | 支出                   |               |
|                              | 人件費支出                | 3,877,321,141 |
| 教育研究経費支出                     | 1,216,571,172        |               |
| 管理経費支出                       | 579,805,918          |               |
| 教育活動資金支出計                    | 5,673,698,231        |               |
| 差引                           | 223,231,803          |               |
| 調整勘定等                        | △ 164,042,438        |               |
| 教育活動資金収支差額                   | 59,189,365           |               |
| 施設整備等活動による資金収支               | 収入                   |               |
|                              | 施設設備寄付金収入            | 94,969,951    |
|                              | 施設設備補助金収入            | 17,583,000    |
|                              | 施設設備売却収入             | 18,600        |
|                              | 全聖学院特別引当特定資産取崩収入     | 250,000,000   |
|                              | 施設整備等活動資金収入計         | 362,571,551   |
|                              | 支出                   |               |
|                              | 施設関係支出               | 105,793,390   |
|                              | 設備関係支出               | 113,873,334   |
|                              | 将来計画引当特定資産繰入支出       | 1,218         |
| 小学校特別引当特定資産繰入支出              | 115                  |               |
| 男子中高特別引当特定資産繰入支出             | 91,863,710           |               |
| 全聖学院特別引当特定資産繰入支出             | 150,001,134          |               |
| 施設整備等活動資金支出計                 | 461,532,901          |               |
| 差引                           | △ 98,961,350         |               |
| 調整勘定等                        | △ 45,908,096         |               |
| 施設整備等活動資金収支差額                | △ 144,869,446        |               |
| 小計（教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額） | △ 85,680,081         |               |
| その他の活動による資金収支                | 収入                   |               |
|                              | 借入金等収入               | 590,750,000   |
|                              | 退職給与引当特定資産取崩収入       | 50,000,000    |
|                              | 奨学充実引当特定資産取崩収入       | 2,952,663     |
|                              | 減価償却引当特定資産取崩収入       | 33,981,348    |
|                              | 大木ス克蘭ツ引当特定資産取崩収入     | 25,765        |
|                              | 貸付金回収収入              | 18,054,928    |
|                              | 預り金受入収入              | 100,779,585   |
|                              | 立替金回収収入              | 720,868       |
|                              | 保証金・敷金回収収入           | 11,910        |
|                              | 小計                   | 797,277,067   |
|                              | 受取利息・配当金収入           | 55,136        |
|                              | 過年度修正収入              | 673,630       |
|                              | その他の活動資金収入計          | 798,005,833   |
|                              | 支出                   |               |
|                              | 借入金等返済支出             | 707,734,000   |
|                              | 第3号基本金引当特定資産繰入支出     | 142           |
|                              | 退職給与引当特定資産繰入支出       | 500           |
|                              | 奨学充実引当特定資産繰入支出       | 510,891       |
|                              | 減価償却引当特定資産繰入支出       | 3,615,023     |
|                              | 後継者育成引当特定資産繰入支出      | 88            |
|                              | 聖学院大学緑聖賞基金引当特定資産繰入支出 | 38            |
|                              | 出版助成引当特定資産繰入支出       | 398           |
| 貸付金支払支出                      | 18,409,782           |               |
| 立替金支払支出                      | 504,652              |               |
| 保証金・敷金支出                     | 92,000               |               |
| 小計                           | 730,867,514          |               |
| 借入金等利息支出                     | 10,902,702           |               |
| 過年度修正支出                      | 807,461              |               |
| その他の活動資金支出計                  | 742,577,677          |               |
| 差引                           | 55,428,156           |               |
| 調整勘定等                        | △ 50,277             |               |
| その他の活動資金収支差額                 | 55,377,879           |               |
| 支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額）    | △ 30,302,202         |               |
| 前年度繰越支払資金                    | 690,498,879          |               |
| 翌年度繰越支払資金                    | 660,196,677          |               |

I) 教育活動による資金収支

教育活動資金収入計 5,897 百万円 (前年度 6,038 百万円) △141 百万円

教育活動資金支出計 5,674 百万円 (前年度 5,693 百万円) △19 百万円

調整勘定等を加味した教育活動資金収支差額 59 百万円 (前年度 222 百万円)

II) 施設整備等活動による資金収支

施設設備等活動資金収入計 363 百万円 (前年度 463 百万円) △100 百万円

施設設備等活動資金支出計 462 百万円 (前年度 591 百万円) △129 百万円

調整勘定等を加味した施設設備等活動資金収支差額 △145 百万円 (前年度△183 百万円)

III) 教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額

△86 百万円 (前年度 39 百万円) △125 百万円

IV) その他の活動による資金収支

その他の活動資金収入計 798 百万円 (前年度 597 百万円) +201 百万円

その他の活動資金支出計 743 百万円 (前年度 848 百万円) △105 百万円

調整勘定等を加味したその他の活動資金収支差額 55 百万円 (前年度△251 百万円)

V) 支払資金の増減額

△30 百万円 (前年度△212 百万円)

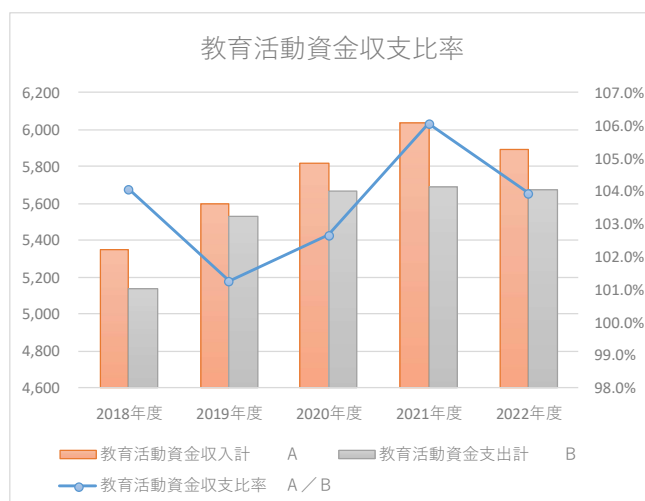
(単位 百万円)

| 科目                            | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|-------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 教育活動による資金収支                   |        |        |        |        |        |
| 教育活動資金収入計                     | 5,350  | 5,600  | 5,819  | 6,038  | 5,897  |
| 教育活動資金支出計                     | 5,141  | 5,531  | 5,668  | 5,693  | 5,674  |
| 差引                            | 208    | 70     | 151    | 345    | 223    |
| 調整勘定等                         | 84     | 65     | △ 55   | △ 122  | △ 164  |
| 教育活動資金収支差額                    | 293    | 135    | 95     | 222    | 59     |
| 施設整備等活動による資金収支                |        |        |        |        |        |
| 施設整備等活動資金収入計                  | 123    | 162    | 433    | 463    | 363    |
| 施設整備等活動資金支出計                  | 319    | 315    | 485    | 591    | 462    |
| 差引                            | △ 197  | △ 154  | △ 52   | △ 128  | △ 99   |
| 調整勘定等                         | 59     | △ 66   | △ 64   | △ 55   | △ 46   |
| 施設整備等活動資金収支差額                 | △ 137  | △ 220  | △ 116  | △ 183  | △ 145  |
| 小計 (教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) | 155    | △ 85   | △ 21   | 39     | △ 86   |
| その他の活動による資金収支                 |        |        |        |        |        |
| その他の活動資金収入計                   | 790    | 1,623  | 933    | 597    | 798    |
| その他の活動資金支出計                   | 957    | 1,647  | 870    | 848    | 743    |
| 差引                            | △ 168  | △ 25   | 63     | △ 251  | 55     |
| 調整勘定等                         | 0      | 0      | 0      | 0      | 0      |
| その他の活動資金収支差額                  | △ 168  | △ 25   | 63     | △ 251  | 55     |
| 支払資金の増減額 (小計+その他の活動資金収支差額)    | △ 12   | △ 110  | 43     | △ 212  | △ 30   |
| 前年度繰越支払資金                     | 982    | 970    | 860    | 902    | 690    |
| 翌年度繰越支払資金                     | 970    | 860    | 902    | 690    | 660    |

## ウ) 財務比率の経年比較

(単位 百万円)

|                  | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 教育活動資金収支比率 A / B | 104.1% | 101.2% | 102.7% | 106.1% | 103.9% |
| 教育活動資金収入計 A      | 5,350  | 5,600  | 5,819  | 6,038  | 5,897  |
| 教育活動資金支出計 B      | 5,141  | 5,531  | 5,668  | 5,693  | 5,674  |



## ③事業活動収支計算書関係

### ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

事業活動収支計算書は経常的及び臨時的収支に区分して、各収支状況を把握できるようになっています。いわゆる企業会計の損益計算書に類似するものです。区分については経常的な教育活動収支、教育活動外収支（受取利息・配当金収入、借入金利息など）、臨時的な特別収支（施設・設備関係）の3区分と基本金関係から構成されています。また、当年度の資金収支を伴わない現物寄付の受入れや減価償却費、引当金等も計上されます。

事業活動収支計算書

2022年4月1日から  
2023年3月31日まで

(単位 円)

|            | 科 目           | 予 算           |               |             | 決 算         |             |     | 差 異 |  |  |
|------------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|-------------|-----|-----|--|--|
|            |               | 予 算           | 決 算           | 差 異         | 予 算         | 決 算         | 差 異 |     |  |  |
| 事業活動収入の部   | 学生生徒等納付金      | 3,795,825,000 | 3,795,899,000 | △           | 74,000      |             |     |     |  |  |
|            | 授業料           | 2,662,941,000 | 2,663,333,700 | △           | 392,700     |             |     |     |  |  |
|            | 入学金           | 315,819,000   | 316,060,000   | △           | 241,000     |             |     |     |  |  |
|            | 実験実習料         | 13,378,000    | 13,458,000    | △           | 80,000      |             |     |     |  |  |
|            | 教育拡充費         | 26,350,000    | 26,340,000    |             | 10,000      |             |     |     |  |  |
|            | 施設費           | 648,718,000   | 648,232,000   |             | 486,000     |             |     |     |  |  |
|            | 施設拡充費         | 118,396,000   | 118,380,000   |             | 16,000      |             |     |     |  |  |
|            | 施設等利用給付費      | 2,323,000     | 2,206,300     |             | 116,700     |             |     |     |  |  |
|            | 特定保育料         | 7,900,000     | 7,889,000     |             | 11,000      |             |     |     |  |  |
|            | 手数料           | 47,223,000    | 49,404,800    | △           | 2,181,800   |             |     |     |  |  |
|            | 入学検定料         | 43,412,000    | 45,747,000    | △           | 2,335,000   |             |     |     |  |  |
|            | 試験料           | 270,000       | 198,000       |             | 72,000      |             |     |     |  |  |
|            | 証明手数料         | 1,871,000     | 1,749,800     |             | 121,200     |             |     |     |  |  |
|            | 入学受入準備費収入     | 1,670,000     | 1,710,000     | △           | 40,000      |             |     |     |  |  |
|            | 寄付金           | 314,523,000   | 266,040,634   |             | 48,482,366  |             |     |     |  |  |
|            | 特別寄付金         | 314,523,000   | 265,985,634   |             | 48,537,366  |             |     |     |  |  |
|            | 現物寄付          | 0             | 55,000        | △           | 55,000      |             |     |     |  |  |
|            | 経常費等補助金       | 1,456,075,000 | 1,489,037,250 | △           | 32,962,250  |             |     |     |  |  |
|            | 国庫補助金         | 398,222,000   | 431,261,800   | △           | 33,039,800  |             |     |     |  |  |
|            | 地方公共団体補助金     | 913,106,000   | 912,598,426   |             | 507,574     |             |     |     |  |  |
|            | 東京都私学財団補助金    | 50,750,000    | 50,692,257    |             | 57,743      |             |     |     |  |  |
|            | 施設型給付費収入      | 89,133,000    | 91,026,326    | △           | 1,893,326   |             |     |     |  |  |
|            | その他補助金        | 4,864,000     | 3,458,441     |             | 1,405,559   |             |     |     |  |  |
|            | 付随事業収入        | 109,810,000   | 100,121,446   |             | 9,688,554   |             |     |     |  |  |
|            | 補助活動収入        | 109,610,000   | 99,935,596    |             | 9,674,404   |             |     |     |  |  |
|            | 受託事業収入        | 200,000       | 185,850       |             | 14,150      |             |     |     |  |  |
|            | 雑収入           | 144,485,000   | 159,018,848   | △           | 14,533,848  |             |     |     |  |  |
|            | 施設設備利用料       | 26,435,000    | 37,541,010    | △           | 11,106,010  |             |     |     |  |  |
|            | 廃品売却収入        | 0             | 22,000        | △           | 22,000      |             |     |     |  |  |
|            | 私大退職金財団交付金    | 103,938,000   | 103,937,300   |             | 700         |             |     |     |  |  |
|            | 入学案内頒布収入      | 571,000       | 676,000       | △           | 105,000     |             |     |     |  |  |
|            | 文献複写費収入       | 0             | 41,510        | △           | 41,510      |             |     |     |  |  |
| その他の雑収入    | 13,541,000    | 16,801,028    | △             | 3,260,028   |             |             |     |     |  |  |
| 教育活動収入計    | 5,867,941,000 | 5,859,521,978 |               | 8,419,022   |             |             |     |     |  |  |
| 事業活動支出の部   | 科 目           | 予 算           | 決 算           | 差 異         |             |             |     |     |  |  |
|            | 人件費           | 3,863,053,000 | 3,878,098,355 | △           | 15,045,355  |             |     |     |  |  |
|            | 教員人件費         | 2,477,859,000 | 2,489,828,787 | △           | 11,969,787  |             |     |     |  |  |
|            | 職員人件費         | 1,168,868,000 | 1,168,967,492 | △           | 99,492      |             |     |     |  |  |
|            | 役員報酬          | 7,713,000     | 7,714,792     | △           | 1,792       |             |     |     |  |  |
|            | 退職給与引当金繰入額    | 83,265,000    | 86,589,989    | △           | 3,324,989   |             |     |     |  |  |
|            | 退職金           | 125,348,000   | 124,997,295   |             | 350,705     |             |     |     |  |  |
|            | 教育研究経費        | 1,813,587,000 | 1,658,895,673 |             | 154,691,327 |             |     |     |  |  |
|            | 消耗品費          | 110,661,000   | 78,291,799    |             | 32,369,201  |             |     |     |  |  |
|            | 光熱水費          | 132,177,000   | 133,026,380   | △           | 849,380     |             |     |     |  |  |
|            | 旅費交通費         | 50,529,000    | 33,221,780    |             | 17,307,220  |             |     |     |  |  |
|            | 奨学費           | 279,584,000   | 272,287,886   |             | 7,296,114   |             |     |     |  |  |
|            | 通信運搬費         | 30,530,000    | 14,044,637    |             | 16,485,363  |             |     |     |  |  |
|            | 印刷製本費         | 34,305,000    | 26,007,138    |             | 8,297,862   |             |     |     |  |  |
|            | 出版物費          | 34,190,000    | 30,246,566    |             | 3,943,434   |             |     |     |  |  |
|            | 研究費           | 41,737,000    | 30,259,902    |             | 11,477,098  |             |     |     |  |  |
|            | 諸会費           | 3,341,000     | 3,421,219     | △           | 80,219      |             |     |     |  |  |
|            | 会議費           | 16,537,000    | 7,568,555     |             | 8,968,445   |             |     |     |  |  |
|            | 報酬・委託・手数料     | 364,018,000   | 370,826,810   | △           | 6,808,810   |             |     |     |  |  |
|            | 福利費           | 7,941,000     | 7,271,879     |             | 669,121     |             |     |     |  |  |
|            | 修繕費           | 111,038,000   | 75,798,755    |             | 35,239,245  |             |     |     |  |  |
|            | 式典費           | 1,071,000     | 460,657       |             | 610,343     |             |     |     |  |  |
|            | 賃借料           | 55,740,000    | 51,208,523    |             | 4,531,477   |             |     |     |  |  |
|            | 補助活動仕入        | 85,498,000    | 66,757,166    |             | 18,740,834  |             |     |     |  |  |
|            | 生徒活動補助金       | 12,814,000    | 9,154,700     |             | 3,659,300   |             |     |     |  |  |
|            | 建物等解体撤去費      | 0             | 2,929,737     | △           | 2,929,737   |             |     |     |  |  |
|            | 雑費            | 14,941,000    | 3,867,460     |             | 11,073,540  |             |     |     |  |  |
|            | 減価償却額         | 426,935,000   | 442,244,124   | △           | 15,309,124  |             |     |     |  |  |
|            | 管理経費          | 663,351,000   | 606,214,913   |             | 57,136,087  |             |     |     |  |  |
|            | 消耗品費          | 12,767,000    | 7,733,137     |             | 5,033,863   |             |     |     |  |  |
|            | 光熱水費          | 9,303,000     | 10,944,685    | △           | 1,641,685   |             |     |     |  |  |
|            | 旅費交通費         | 5,922,000     | 2,923,385     |             | 2,998,615   |             |     |     |  |  |
|            | 通信運搬費         | 22,622,000    | 23,924,856    | △           | 1,302,856   |             |     |     |  |  |
|            | 印刷製本費         | 46,856,000    | 41,116,018    |             | 5,739,982   |             |     |     |  |  |
|            | 出版物費          | 542,000       | 2,210,900     | △           | 1,668,900   |             |     |     |  |  |
|            | 諸会費           | 8,777,000     | 9,722,315     | △           | 945,315     |             |     |     |  |  |
|            | 会議費           | 8,711,000     | 2,937,576     |             | 5,773,424   |             |     |     |  |  |
|            | 報酬・委託・手数料     | 196,139,000   | 179,383,606   |             | 16,755,394  |             |     |     |  |  |
|            | 福利費           | 342,000       | 4,170,370     | △           | 3,828,370   |             |     |     |  |  |
|            | 修繕費           | 10,293,000    | 4,582,025     |             | 5,710,975   |             |     |     |  |  |
|            | 保険料           | 10,874,000    | 10,954,989    | △           | 80,989      |             |     |     |  |  |
|            | 広報費           | 224,486,000   | 201,452,720   |             | 23,033,280  |             |     |     |  |  |
|            | 法人費           | 211,000       | 130,502       |             | 80,498      |             |     |     |  |  |
|            | 車両費           | 1,224,000     | 702,145       |             | 521,855     |             |     |     |  |  |
|            | 渉外費           | 3,144,000     | 1,124,301     |             | 2,019,699   |             |     |     |  |  |
|            | 公租公課          | 2,270,000     | 2,877,540     | △           | 607,540     |             |     |     |  |  |
|            | 賃借料           | 8,884,000     | 8,823,605     |             | 60,395      |             |     |     |  |  |
| 特別奨学費      | 3,000,000     | 3,000,000     |               | 0           |             |             |     |     |  |  |
| 入学検定料免除額   | 0             | 370,000       | △             | 370,000     |             |             |     |     |  |  |
| 補助活動仕入     | 50,377,000    | 47,536,531    |               | 2,840,469   |             |             |     |     |  |  |
| 建物等解体撤去費   | 0             | 132,000       | △             | 132,000     |             |             |     |     |  |  |
| 授業料等減免費返還金 | 0             | 116,700       | △             | 116,700     |             |             |     |     |  |  |
| 雑費         | 9,708,000     | 10,883,257    | △             | 1,175,257   |             |             |     |     |  |  |
| 減価償却額      | 26,899,000    | 28,461,750    | △             | 1,562,750   |             |             |     |     |  |  |
| 徴収不能額等     | 11,930,000    | 10,900,000    |               | 1,030,000   |             |             |     |     |  |  |
| 徴収不能額      | 11,930,000    | 10,900,000    |               | 1,030,000   |             |             |     |     |  |  |
| 教育活動支出計    | 6,351,921,000 | 6,154,108,941 |               | 197,812,059 |             |             |     |     |  |  |
| 教育活動収支差額   | △             | 483,980,000   | △             | 294,586,963 | △           | 189,393,037 |     |     |  |  |

|               |      | 科 目              | 予 算              | 決 算           | 差 異           |               |              |
|---------------|------|------------------|------------------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 教育活動<br>収入活動  | 収入活動 | 受取利息・配当金         | 198,000          | 55,136        | 142,864       |               |              |
|               |      | 第3号基本金引当特定資産運用収入 | 7,000            | 848           | 6,152         |               |              |
|               |      | その他の受取利息・配当金     | 191,000          | 54,288        | 136,712       |               |              |
|               |      | その他の教育活動外収入      | 0                | 0             | 0             |               |              |
|               |      | 教育活動外収入計         | 198,000          | 55,136        | 142,864       |               |              |
| 教育活動<br>支出活動  | 支出活動 | 借入金等利息           | 11,002,000       | 10,902,702    | 99,298        |               |              |
|               |      | 借入金利息            | 11,002,000       | 10,902,702    | 99,298        |               |              |
|               |      | その他の教育活動外支出      | 0                | 0             | 0             |               |              |
|               |      | 教育活動外支出計         | 11,002,000       | 10,902,702    | 99,298        |               |              |
|               |      | 教育活動外収支差額        | △ 10,804,000     | △ 10,847,566  | 43,566        |               |              |
|               |      | 経常収支差額           | △ 494,784,000    | △ 305,434,529 | △ 189,349,471 |               |              |
| 特別収入<br>事業活動  | 収入活動 | 資産売却差額           | 0                | 17,600        | △ 17,600      |               |              |
|               |      | 車両売却差額           | 0                | 17,600        | △ 17,600      |               |              |
|               |      | その他の特別収入         | 60,606,000       | 117,279,692   | △ 56,673,692  |               |              |
|               |      | 施設設備寄付金          | 44,943,000       | 94,969,951    | △ 50,026,951  |               |              |
|               |      | 現物寄付             | 0                | 4,053,111     | △ 4,053,111   |               |              |
|               |      | 施設設備補助金          | 15,663,000       | 17,583,000    | △ 1,920,000   |               |              |
|               |      | 過年度修正額           | 0                | 673,630       | △ 673,630     |               |              |
|               |      | 特別収入計            | 60,606,000       | 117,297,292   | △ 56,691,292  |               |              |
|               |      | 特別支出<br>事業活動     | 支出活動             | 資産処分差額        | 0             | 18,276,455    | △ 18,276,455 |
|               |      |                  |                  | 建物処分差額        | 0             | 530,072       | △ 530,072    |
|               |      |                  |                  | 教育研究用機器備品処分差額 | 0             | 7,428,603     | △ 7,428,603  |
|               |      |                  |                  | 管理用機器備品処分差額   | 0             | 81,051        | △ 81,051     |
|               |      |                  |                  | 図書処分差額        | 0             | 8,394,262     | △ 8,394,262  |
| その他の資産処分差額    | 0    |                  |                  | 1,842,467     | △ 1,842,467   |               |              |
| その他の特別支出      | 0    |                  |                  | 807,461       | △ 807,461     |               |              |
| 過年度修正額        | 0    |                  |                  | 807,461       | △ 807,461     |               |              |
| 特別支出計         | 0    |                  |                  | 19,083,916    | △ 19,083,916  |               |              |
|               |      |                  |                  | 特別収支差額        | 60,606,000    | 98,213,376    | △ 37,607,376 |
| (予備費)         |      |                  |                  | 0             | 0             | 0             |              |
| 基本金組入前当年度収支差額 |      |                  |                  | △ 434,178,000 | △ 207,221,153 | △ 226,956,847 |              |
| 基本金組入額合計      |      |                  |                  | △ 256,736,000 | △ 286,153,975 | 29,417,975    |              |
| 当年度収支差額       |      | △ 690,914,000    | △ 493,375,128    | △ 197,538,872 |               |               |              |
| 前年度繰越収支差額     |      | △ 12,786,889,000 | △ 12,786,889,072 | 72            |               |               |              |
| 基本金取崩額        |      | 0                | 1,481,721        | △ 1,481,721   |               |               |              |
| 翌年度繰越収支差額     |      | △ 13,477,803,000 | △ 13,278,782,479 | △ 199,020,521 |               |               |              |
| (参考)          |      |                  |                  |               |               |               |              |
| 事業活動収入計       |      | 5,928,745,000    | 5,976,874,406    | △ 48,129,406  |               |               |              |
| 事業活動支出計       |      | 6,362,923,000    | 6,184,095,559    | 178,827,441   |               |               |              |

#### I) 教育活動収支

教育活動収入計 5,859 百万円 (前年度 5,904 百万円) △45 百万円  
教育活動支出計 6,154 百万円 (前年度 6,032 百万円) +122 百万円  
教育活動収支差額 △294 百万円 (前年度△127 百万円) △167 百万円  
備考：教・管計) 減価償却額 471 百万円 (前年度 489 百万円) △18 百万円  
徴収不能額 11 百万円 (前年度 16 百万円) △5 百万円

#### II) 教育活動外収支

教育活動外収支差額 △11 百万円 (前年度△127 百万円)  
教育活動収支と教育活動外収支を合わせた経常収支差額は、△305 百万円と悪化しました。

#### III) 特別収支

特別収支差額 98 百万円 (前年度 118 百万円)

#### IV) 翌年度繰越収支差額

基本金組入前当年度収支差額 △207 百万円 (前年度△21 百万円) △186 百万円  
基本金組入額計 △286 百万円 (前年度△435 百万円)  
当年度収支差額 △493 百万円 (前年度△456 百万円)  
当年度収支差額に前年度繰越収支差額と基本金取崩額を加味した翌年度繰越収支差額は、△13,279 百万円となりました。

(単位 百万円)

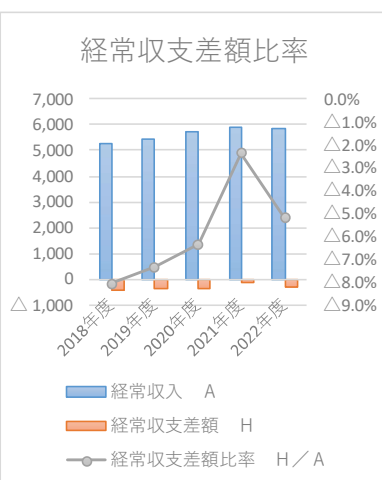
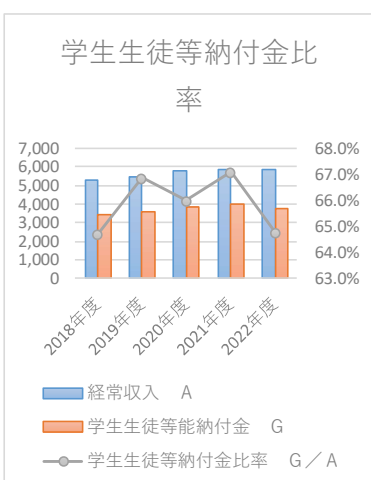
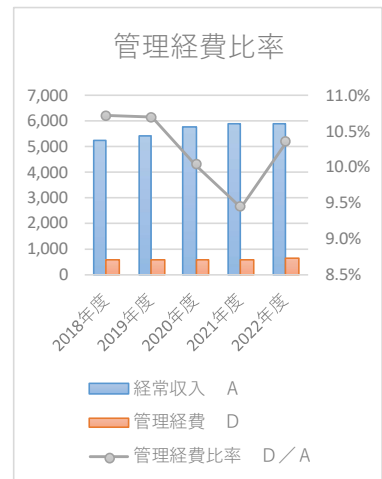
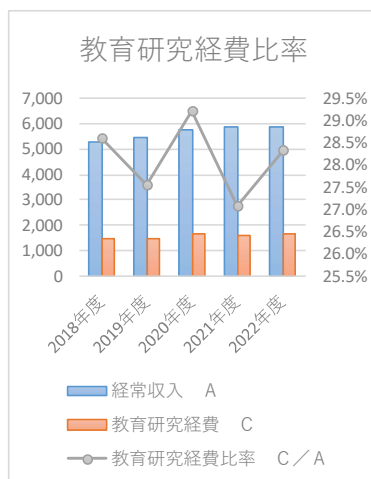
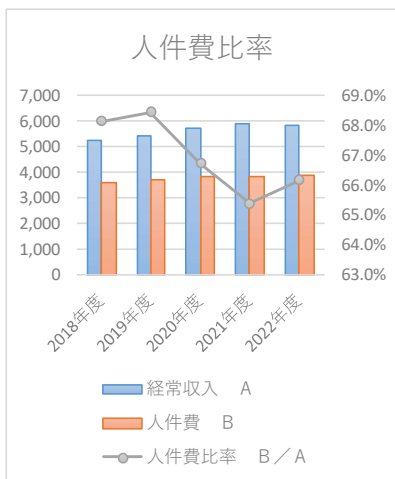
| 科目        |               | 2018年度   | 2019年度   | 2020年度   | 2021年度   | 2022年度 |
|-----------|---------------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 教育活動収支    | 事業活動収入の部      |          |          |          |          |        |
|           | 学生生徒等納付金      | 3,402    | 3,634    | 3,798    | 3,961    | 3,796  |
|           | 手数料           | 67       | 71       | 66       | 55       | 49     |
|           | 寄付金           | 360      | 283      | 304      | 300      | 266    |
|           | 経常費等補助金       | 1,227    | 1,217    | 1,326    | 1,375    | 1,489  |
|           | 付随事業収入        | 112      | 110      | 69       | 91       | 100    |
|           | 雑収入           | 88       | 120      | 192      | 123      | 159    |
|           | 教育活動収入計       | 5,256    | 5,435    | 5,755    | 5,904    | 5,860  |
|           | 事業活動支出の部      |          |          |          |          |        |
|           | 人件費           | 3,582    | 3,721    | 3,840    | 3,861    | 3,878  |
|           | 教育研究経費        | 1,503    | 1,497    | 1,681    | 1,598    | 1,659  |
|           | 管理経費          | 563      | 581      | 577      | 557      | 606    |
|           | 徴収不能額等        | 21       | 23       | 12       | 16       | 11     |
|           | 教育活動支出計       | 5,668    | 5,822    | 6,110    | 6,032    | 6,154  |
| 教育活動収支差額  | △ 412         | △ 387    | △ 355    | △ 127    | △ 295    |        |
| 教育活動外収支   | 事業活動収入の部      |          |          |          |          |        |
|           | 受取利息・配当金      | 0        | 0        | 0        | 0        | 0      |
|           | その他の教育活動外収入   | 0        | 0        | 0        | 0        | 0      |
|           | 教育活動外収入計      | 0        | 0        | 0        | 0        | 0      |
|           | 事業活動支出の部      |          |          |          |          |        |
|           | 借入金等利息        | 13       | 13       | 12       | 11       | 11     |
|           | その他の教育活動外支出   | 0        | 0        | 0        | 0        | 0      |
|           | 教育活動外支出計      | 13       | 13       | 12       | 11       | 11     |
|           | 教育活動外収支差額     | △ 13     | △ 13     | △ 12     | △ 11     | △ 11   |
|           | 経常収支差額        | △ 425    | △ 400    | △ 367    | △ 139    | △ 305  |
| 特別収支      | 事業活動収入の部      |          |          |          |          |        |
|           | 資産売却差額        | 0        | 0        | 0        | 0        | 0      |
|           | その他の特別収入      | 28       | 139      | 189      | 137      | 117    |
|           | 特別収入計         | 28       | 139      | 189      | 138      | 117    |
|           | 事業活動支出の部      |          |          |          |          |        |
|           | 資産処分差額        | 12       | 16       | 50       | 19       | 18     |
|           | その他の特別支出      | 14       | 44       | 1        | 0        | 1      |
|           | 特別支出計         | 26       | 61       | 51       | 20       | 19     |
|           | 特別収支差額        | 2        | 78       | 138      | 118      | 98     |
|           | 基本金組入前当年度収支差額 | △ 423    | △ 322    | △ 229    | △ 21     | △ 207  |
| 基本金組入額合計  | △ 221         | △ 363    | △ 240    | △ 435    | △ 286    |        |
| 当年度収支差額   | △ 644         | △ 684    | △ 470    | △ 456    | △ 493    |        |
| 前年度繰越収支差額 | △ 10,536      | △ 11,177 | △ 11,861 | △ 12,331 | △ 12,787 |        |
| 基本金取崩額    | 4             | 0        | 0        | 0        | 1        |        |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 11,177      | △ 11,861 | △ 12,331 | △ 12,787 | △ 13,279 |        |
| (参考)      |               |          |          |          |          |        |
| 事業活動収入計   | 5,284         | 5,574    | 5,944    | 6,042    | 5,977    |        |
| 事業活動支出計   | 5,707         | 5,896    | 6,173    | 6,063    | 6,184    |        |

イ) 財務比率の経年比較

(単位 百万円)

|                 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 経常収入 A          | 5,256  | 5,435  | 5,755  | 5,904  | 5,860  |
| 人件費 B           | 3,582  | 3,721  | 3,840  | 3,861  | 3,878  |
| 教育研究経費 C        | 1,503  | 1,497  | 1,681  | 1,598  | 1,659  |
| 管理経費 D          | 563    | 581    | 577    | 557    | 606    |
| 基本金組入前当年度収支差額 E | △ 423  | △ 322  | △ 229  | △ 21   | △ 207  |
| 事業活動収入 F        | 5,284  | 5,574  | 5,944  | 6,042  | 5,977  |
| 学生生徒等能納付金 G     | 3,402  | 3,634  | 3,798  | 3,961  | 3,796  |
| 経常収支差額 H        | △ 425  | △ 400  | △ 367  | △ 139  | △ 305  |

|                | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 人件費比率 B/A      | 68.2%  | 68.5%  | 66.7%  | 65.4%  | 66.2%  |
| 教育研究経費比率 C/A   | 28.6%  | 27.5%  | 29.2%  | 27.1%  | 28.3%  |
| 管理経費比率 D/A     | 10.7%  | 10.7%  | 10.0%  | 9.4%   | 10.3%  |
| 事業活動収支差額比率 E/F | △8.0%  | △5.8%  | △3.9%  | △0.3%  | △3.5%  |
| 学生生徒等納付金比率 G/A | 64.7%  | 66.9%  | 66.0%  | 67.1%  | 64.8%  |
| 経常収支差額比率 H/A   | △8.1%  | △7.4%  | △6.4%  | △2.4%  | △5.2%  |





### 3. その他

#### ①有価証券の状況

(単位 円)

| 銘柄                 | 券面金額    | 数量  | 取得年月日     | 帳簿価額       | 備考    |
|--------------------|---------|-----|-----------|------------|-------|
| (株) 聖学院ゼネラルサービス 株式 | 100,000 | 24  | 2002/3/29 | 2,400,000  |       |
|                    |         | 10  | 2008/7/14 | 1,000,000  | 株式の譲渡 |
|                    |         | 50  | 2013/3/25 | 5,000,000  | 株式の増資 |
|                    |         | 5   | 2013/3/25 | 500,000    | 株式の譲渡 |
|                    |         | 11  | 2013/3/28 | 1,100,000  | 株式の譲渡 |
| 計                  |         | 100 |           | 10,000,000 |       |

#### ②借入金の状況

(単位 円)

| 借入先   |                 | 期末残高          | 利率            | 返済期限                 |           |
|-------|-----------------|---------------|---------------|----------------------|-----------|
| 長期借入金 | 公的金融機関          | 4,000,000     | 0.000%        | 最長 2026/3/10         |           |
|       |                 | 公益財団法人東京都私学財団 | 540,541,000   | 0.600%               | 2033/11/5 |
|       |                 | 39,520,000    | 0.700%        | 2032/9/5             |           |
|       | 小計              | 584,061,000   |               |                      |           |
| 計     | 584,061,000     |               |               |                      |           |
| 短期借入金 | 市中金融機関          | 埼玉りそな銀行宮原支店   | 500,000,000   | 0.41364<br>~0.42455% | 2023/6/30 |
|       |                 | みずほ銀行大塚支店     | 400,000,000   | 0.34000<br>~0.36000% | 2023/4/13 |
|       |                 | 足利銀行桶川支店      | 150,000,000   | 0.36182<br>~0.39545% | 2023/4/3  |
|       |                 | 三井住友銀行大塚支店    | 300,000,000   | 0.28000%             | 2023/4/21 |
|       |                 |               | 139,000,000   | 0.42000%             | 2023/5/31 |
|       |                 |               | 300,000,000   | 0.35000%             | 2023/4/21 |
|       |                 | 小計            | 1,789,000,000 |                      |           |
|       | 返済期限が1年以内の長期借入金 | 61,952,000    |               |                      |           |
| 計     | 1,850,952,000   |               |               |                      |           |
| 合計    | 2,435,013,000   |               |               |                      |           |

#### ③学校債の状況

学校債はありません。

④寄付金の状況

(単位 円)

| 寄附金の種類          | 金額          | 寄付者      |
|-----------------|-------------|----------|
| A S F 寄付金       | 273,883,385 | 教職員、保護者等 |
| 私学振興・共済事業団指定寄付金 | 3,990,000   | 一般企業等    |
| 教育振興資金          | 60,000,000  | 生徒保護者    |
| 現物寄付            | 4,108,111   | 個人、周辺団体等 |
| 指定寄付金           | 23,082,200  | 個人、周辺団体等 |

⑤補助金の状況

(単位 円)

| 補助金の種類     | 金額          | 備考                       |
|------------|-------------|--------------------------|
| 国庫補助金      | 431,261,800 | 内 授業料等減免費交付金 119,608,800 |
| 地方公共団体補助金  | 912,598,426 |                          |
| 東京都私学財団補助金 | 68,275,257  |                          |
| 施設型給付費     | 91,026,326  |                          |
| その他補助金     | 3,458,441   |                          |

⑥収益事業の状況

収益事業はありません。

⑦関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

対象となる取引はありません。

イ) 出資会社

(単位 円)

| 社名              | 事業内容 | 資本金        | 出資割合 | 取引の内容                            | 保証債務等 |
|-----------------|------|------------|------|----------------------------------|-------|
| (株) 聖学院ゼネラルサービス | 物販他  | 10,000,000 | 100% | 物販他 1,542,607<br>受取寄付金 1,000,000 | なし    |

⑧学校法人間財務取引

対象となる取引はありません。

#### 4. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

当法人の第一期中期計画（SeigVision）は2022年度が最終年度になります。財政改善の大きな目標として、企業会計における当期純損益に相当する「基本金組入前当年度収支差額」の収支均衡を掲げてきましたが達成には至りませんでした。2022年度の経営状況及び今後の方針につきまして各計算書を基に報告します。

##### （1）資金状況：（活動区分資金収支計算書による）

- ①教育活動区分：教育活動に係る収支差額を示しており、全体では+59,189千円となっています。前年度対比では学生数の減少により学生生徒等納付金収入は△165,191千円、補助金収入では+114,703千円が主な増減要因ではあるものの、その他の増減も考慮した教育活動収支差額全体では前年度対比△163,013千円となりました。
- ②施設設備等活動区分：施設設備等に係る収支差額を示しており、全体では△144,869千円となっています。前年度対比では施設設備等への投資額が102,094千円減少し、全聖学院特別引当特定資産100,000千円の取崩し等が増加要因となり、2021年度は校舎に係る中央熱源更新のために特定預金132,000千円の取崩しを行っていたことから、前年度対比では+38,213千円に留まりました。
- ③教育活動及び施設設備等活動の合計である経常的な活動から生じたキャッシュフローは△85,680千円となりました。
- ④その他の活動区分：教育活動及び施設設備等活動以外の活動で、主に借入金の増減や特定預金への繰入・取崩などが計上されていますが、全体では+55,378千円となっています。主に大学周辺会計通帳残高受入れたことにより100,779千円ほど預り金収入が増加、退職金支払いのため退職給与引当特定資産を50,000千円取崩収入等が増加要因となっており、東京都私学財団への借入金については約定通りに返済を行いました。
- ⑤全体的な資金の流れとしては、教育活動で生み出されたキャッシュフローで施設設備の投資と借入金返済及び特定預金の積立を賄うことが望ましいですが、経常的な活動で資金収支がマイナスに転じおり、大学周辺会計預り金受入により預り金収入が増加したにもかかわらず流動資金の減少が続いている状況にあります。

##### （2）経営状況：（事業活動収支計算書による）

- ①2021年度まで経営状況は改善傾向にありましたが、今年度は短期的な収支均衡である基本金組入前当年度収支差額は△207,221千円となり、中期計画（SeigVison）で目標とする収支の均衡から一歩後退し2020年度並みの水準となりました。第二期中期計画でも引き続き収支均衡を目指します。
- ②法人部門に係る収支差額はオール聖学院で負担することになるため、法人全体で基本金組入前収支差額の収支均衡のためには各部門単位での収支をプラスにしていくことを目指します。

##### （3）財政状況：（貸借対照表による）

- ①経年比較から法人全体の資産及び負債は共に減少傾向が続いている。資産の部については減価償却が進む一方、改築等が進んでいない、特定資産など将来計画のための資金留保が進んでいない、流動資産が減少していること等から減少しています。また負債の部については借入金や未払金などの返済が計画的に進んでいることからこちらも減少傾向にあります。
- ②繰越収支差額は基本金組入前収支差額による赤字部分と基本金組入額との合計になりますが、これまでの収支状況からマイナス傾向が続いている。

##### （4）今後の方針

経営状況の水準を上げながら、資金需要の確保や特定預金の積立を効率的に行っていくことが引き続き課題となる。そのためにも第二期中期計画では学院の適正な収容定員を確立し、中期的な視点でそれに見合った経費構造を構築することが重要である。引き続き財政目標達成のために注力すると共に、更なる財政基盤構築のため新たな第二期中期計画を実行します。

## 5. 財産目録

(2023年3月31日現在)

(単位：円)

| 科 目         | 単 位                       | 金 額              |
|-------------|---------------------------|------------------|
| 一 資産額       |                           |                  |
| (一) 基本財産    |                           | 11,993,213,974 円 |
| 1 土地 (団地)   |                           |                  |
| 校地          | 135,543.75 m <sup>2</sup> | 2,309,484,869 円  |
| 2 建物        |                           |                  |
| (1) 校舎      | 63,739.65 m <sup>2</sup>  | 7,784,721,238 円  |
| 3 構築物       | 324 式                     | 139,700,446 円    |
| 4 図書        | 358,355 冊                 | 1,278,869,765 円  |
| 5 教具・校具・備品  | 18,953 点                  | 339,949,020 円    |
| 6 その他       |                           | 140,488,636 円    |
| (二) 運用財産    |                           | 4,031,344,052 円  |
| 1 預金、現金     |                           | 660,196,677 円    |
| 現金 現金手許有高   |                           | 3,564,859 円      |
| 普通預金        |                           | 656,631,818 円    |
| 2 積立金       |                           | 3,127,619,012 円  |
| 3 有価証券      |                           | 10,000,000 円     |
| 4 貯蔵品       |                           | 9,398,278 円      |
| 5 未収金       |                           | 169,489,316 円    |
| 6 前払金       |                           | 37,162,098 円     |
| 7 長期貸付金     |                           | 6,849,544 円      |
| 8 短期貸付金     |                           | 9,453,245 円      |
| 9 その他       |                           | 1,175,882 円      |
| 資産合計        |                           | 16,024,558,026 円 |
| 二 負債額       |                           |                  |
| 1 固定負債      |                           | 2,159,232,344 円  |
| (1) 長期借入金   |                           | 584,061,000 円    |
| 東京都私学財団     |                           | 584,061,000 円    |
| (2) 長期未払金   |                           | 65,638,920 円     |
| (3) 退職給与引当金 |                           | 1,509,532,424 円  |
| 2 流動負債      |                           | 3,289,847,922 円  |
| (1) 短期借入金   |                           | 1,850,952,000 円  |
| 東京都私学財団     |                           | 61,952,000 円     |
| 市中金融機関      |                           | 1,789,000,000 円  |
| (2) 前受金     |                           | 510,983,185 円    |
| (3) 未払金     |                           | 371,281,113 円    |
| (4) 預り金     |                           | 556,631,624 円    |
| 負債合計        |                           | 5,449,080,266 円  |
| 三 正味財産      |                           | 10,575,477,760 円 |

# 監 査 報 告 書

2023（令和5）年5月23日

学 校 法 人 聖 学 院  
理 事 会 御 中  
(評 議 員 会 御 中)

監 事 高橋 克典  
監 事 柴田 史子  
監 事 朝倉 祝

私たちは、私立学校法第37条第3項に基づく監査報告を行うため、学校法人聖学院の寄附行為第9条の規定に従い、学校法人聖学院の2022年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）の、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続を実施した。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以 上